

集合住宅における入口部土足空間の開放性と隣接する室の構成に関する研究

東京理科大学  
工学部建築学科  
坂牛研究室

4118037 小林 泰

指導教員 主査 坂牛 卓



## **Abstract**

### **A STUDY ON THE OPENNESS OF THE EARTHEN-FLOOR AREA AT THE ENTRANCES AND THE COMPOSITION OF ADJACENT ROOMS IN APARTMENT BUILDINGS**

**Tai KOBAYASHI**

The purpose of this study is to clarify how spatial differences in the earthen-floor area are determined by the composition of the rooms by analyzing the layout of earthen-floor area, boundaries with common areas, and the rooms in the dwelling unit, and identify the planning method that considers privacy in the dwelling unit with the open earthen-floor area.

The study concludes that dwelling units with configurations in which residents have more opportunities to use the earthen-floor area in their daily lives have more open space in the earthen-floor area, and that rooms adjacent to the earthen-floor area are arranged so that they are not easily visible from the common area.

目次		
梗概		p.007
第1章	序論	p.011
1.1.	研究の背景と目的	
1.2.	既往研究	
1.3.	研究対象	
		p.015
第2章	分析方法	
2.1.	分析方法	
2.2.	土足空間と隣接する室の構成による分類(分析1)	
2.3.	土足空間と共用部の境界の透過率の算出と比較(分析2)	
2.4.	プライバシー保護のための建築手法(分析3)	
第3章	分析結果	p.023
3.1.	土足空間と隣接する室の構成による分類(分析1)	
3.2.	土足空間と共用部の境界の透過率の算出と比較(分析2)	
3.3.	プライバシー保護のための建築手法(分析3)	
第4章	結論	p.029

参考文献

p.31

謝辞

p.33

データシート

p.37



梗概

# 集合住宅における入口部土足空間の開放性と隣接する室の構成に関する研究

坂牛研究室

4118037 小林 泰

## 1. 研究の背景と目的

1970年代頃から住戸数の充足とともに住居水準の向上が求められ、住居の閉鎖性等が批判されるようになった。<sup>註1)</sup>それと同時に集合住宅の室にも大きな変化が見られるようになった。そうした中で、住戸の玄関のような土足空間を広げ、そこを近隣住民との場にしようとする計画や、土足空間が居室としての役割を担うように計画されているもの等、公的な空間である共用部と住戸の関係を変えようとする提案が見られるようになった。一方でこのような計画では住人のプライバシーへの配慮が必要となる。

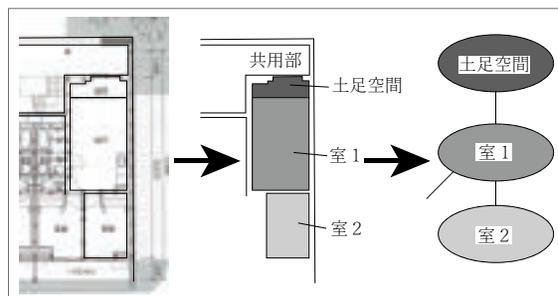
本研究では、集合住宅において、住戸の土足空間、共用部の境界および住戸の室の配置を分析することで、①室の構成による土足空間の開放性の違いを明らかにすること、②開放的な土足空間をもつ住戸におけるプライバシーを考慮した計画手法を明らかにすることを目的とする。

## 2. 既往研究

住戸と共用部の平面計画と境界の構成から公私の関係性を明らかにしたもの<sup>註2)</sup>や、視線による居住者のプライバシー侵害の可能性と被害意識の関係についてアンケート調査などから分析したもの<sup>註3)</sup>はあるが、土足空間に着目して、住戸の構成と開放性の関係を扱ったものはない。

## 3. 研究対象

『新建築』（新建築社）1970年1月号～2021年8月号に掲載されている、主要用途が集合住宅、共同住宅、長屋である建築で、共用部から土足空間が見えるような窓を持つ住戸、計



▲図1 室の構成の図式化

▼表1 各要素の透過率

素材の透過率		目隠しの透過率	
ガラス	1	障子	0.5
木格子	0.6	カーテン	0.5
すりガラス	0.3	ルーバー	0.6
ガラスブロック	0.2	ブラインド	0.5
ジャロジー	0.5	エキスパンドメタル	0.7
共用部との間にある空間の透過率		植物	0.7
前庭	0.9		
テラス	0.9		
廂	0.9		
段差	0.9		
ブリッジ(離れ)	0.7		

190戸を研究対象とする。<sup>註4)</sup>

## 4. 研究方法

本研究は3段階の分析によって構成する。

「分析1」：対象の住戸を土足空間と隣接する室の構成から分類する。「分析2」：土足空間と共用部の境界の壁の透過率を算出し、分析1から得た分類ごとに比較する。「分析3」：分析2で明らかにした開放性の高いタイプにおいてプライバシーを確保する手法を図面から読み取る。

### 4.1. 土足空間と隣接する室の構成による分類「分析1」

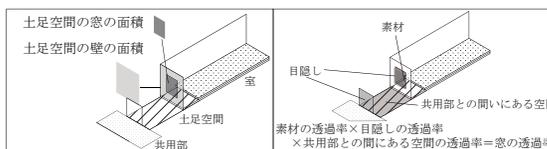
対象住戸の平面図から、土足空間と隣接する室の構成を図式化する。土足空間および各室を楕円で示し、それらの間で行き来が可能な場合は線でつないでいる。(図1)この図式をもとに室の構成から住戸を分類する。

### 4.2. 土足空間と共用部の境界の透過率の算出と比較「分析2」

対象住戸における土足空間と共用部の境界となっている壁および窓の面積(図2)からその土足空間の「窓の面積率」を算出する。次に窓の素材、目隠し、共用部との間にある空間等の各要素の透過率の積からその窓の「窓の透過率」を算出する。(図3)この時の「各要素の透過率」の評価は表1に示す。以上で求めた「窓の面積率」と「窓の透過率」から、その土足空間の「壁の透過率」を求める。(図4)これにより、分析1で得た各分類の「壁の透過率」の平均値を求めることで、室の構成による土足空間の共用部への開放性の違いを比較する。

### 4.3. プライバシー保護のための建築手法「分析3」

分析2で得た開放性の高いタイプにおいて、それぞれの住

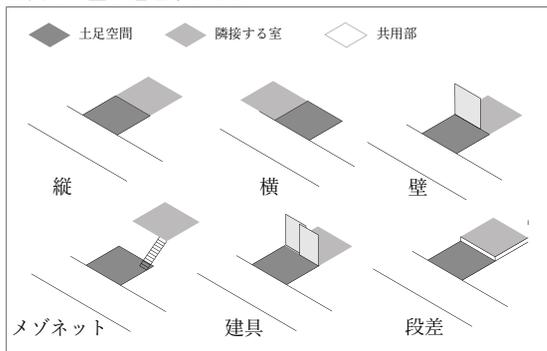


▲図2 各要素の名称

▲図3 窓の透過率の公式

$$\frac{\text{土足空間の窓の面積}}{\text{土足空間の壁の面積}} \times \text{窓の透過率} = \text{壁の透過率}$$

▲図4 壁の透過率の公式



▲図5 土足空間に隣接する室の位置

戸の平面図を用いて境界の壁から土足空間以外の室が見えるか、また、見えない室はどこにあるかを図面から読み取る。(図5)

## 5. 結果

### 5.1. 土足空間と隣接する室の構成による分類「分析1」

分析1の結果を図6に示す。(A)土足空間に一つの室が隣接しているもの、(B)土足空間に室が二つ隣接しているが、その二室同士はつながっており、土足空間を介すことなく行き来ができるもの、(C)土足空間に室が二つ隣接しているが、その二室は土足空間や壁によって分断されており、土足空間を介すことなく行き来ができなくなっているもの、(D)土足空間自体が居室として計画されているものに分類することができた。対象住戸における各類型の内訳は(A)タイプが最も多かったが、現在に近づくとつれ、(C)・(D)タイプの数が増えている。(表2)(図7)

### 5.2. 土足空間と共用部の境界の透過率の算出とタイプごとの比較

分析2の結果を表3に示す。(A)・(B)タイプに比べ(C)・(D)タイプの「壁の透過率」の平均値は0.1以上高かった。

### 5.3. プライバシー保護のための建築手法

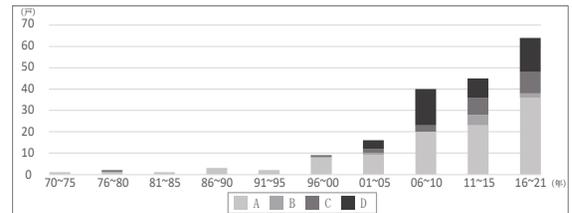
透過率の高かった(C)・(D)タイプを対象に分析3を行った結果を図8に示す。土足空間と隣接する室の位置は、(C)タイプでは、土足空間の横に配置したものが半数以上と最も多かった。一方(D)タイプではメゾネット方式で配置したものが半数以上を占め、横に配置したものの数は少なかった。

以上より、集合住宅において、(C)・(D)タイプで見られるような住戸構成のものは開放的な土足空間を持つことが多いが、その際プライバシーは、メゾネット方式や土足空間の横に室を配置することで保護するように計画されている場合が多いことを明らかにした。

## 6. 結論

本研究では、土足空間とそれに隣接する室の構成による土足空間の共用部に対する開放性の違いを明らかにし、(C)・(D)タイプといった住人が日常生活で土足空間を使う機会が多い構成のものが開放的な土足空間を持つことがわかった。

このことから住人の様子が共用部に対して見られるような住戸を計画することを目的として開放的な土足空間が計画されることが多いことが推察される。一方で、プライバシーの保護の観点から、開放的な土足空間を持つような住戸では土足空間に隣接する室は共用部から見えにくいような位置に配置されることがわかった。以上より、玄関のような土足空間を開放的にする一方で隣接する室を隠すように配置することでプライバシーを確保しながら、近隣住民との公共的な空間を持つ住戸を計画している建築が多くみられることがわかった。



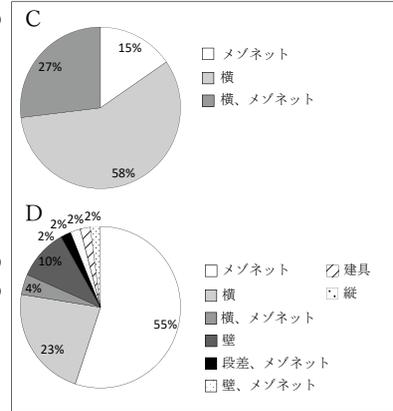
▲図7 年代による対象住戸数の推移

▼表2 各類型の住戸数

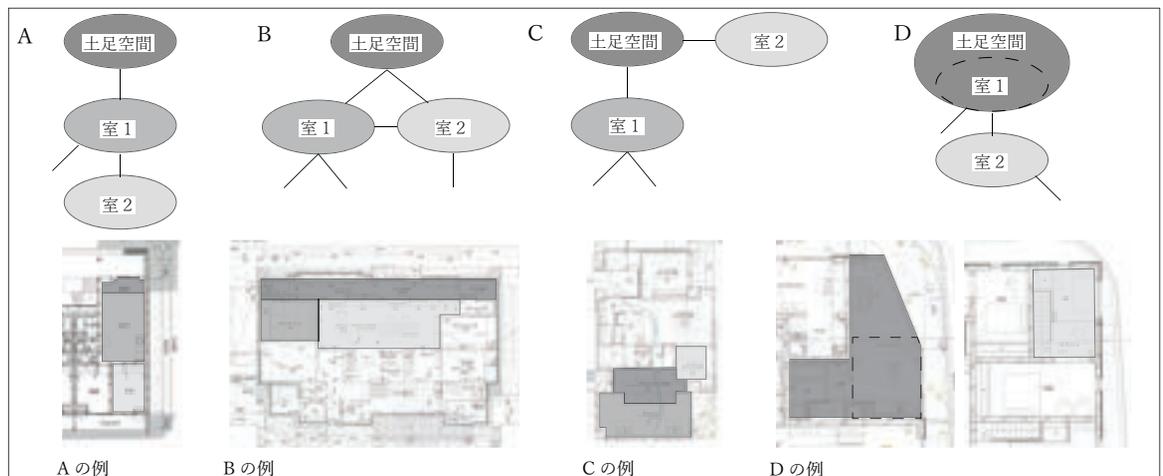
タイプ	対象住戸数
A	104
B	11
C	26
D	49
計	190

▼表3 各類型の「壁の透過率」の平均値

タイプ	平均透過率
A	0.514
B	0.588
C	0.696
D	0.694



▲図8 各類型におけるの土足空間に隣接する室の位置



▲図6 室の構成による分類

脚注: 註1) 日本建築学会 『コンパクト建築設計資料集成第3版』丸善出版 2005年 p148  
 註2) 月浦 泰隆 他 『集合住宅における住戸と共用部の空間計画と開放的な境界の構成にみる公私の関係性 その1』『日本建築学会大会学術講演梗概集』2019年9月 pp1221-1222  
 『集合住宅における住戸と共用部の空間計画と開放的な境界の構成にみる公私の関係性 その2』『日本建築学会大会学術講演梗概集』2019年9月 pp1223-1224  
 註3) 吉田 哲 他 『集合住宅における視線による居住者のプライバシー被害の可能性と被害意識の関係』『日本建築学会大会学術講演梗概集』1997年10月 pp103-110  
 註4) 新建築に掲載されている図面および写真から必要な情報が読み取れるものに限る。  
 参考文献: 江上 徹 「LUDK 批判をめぐる諸理念・諸議論の系統的整理: 後編- 計画学のための基礎的考察 その3」『九州産業大学工学部研究報告42号』2006年 pp325-334



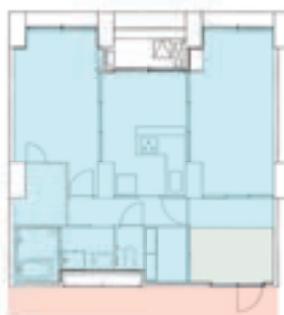
## 第 1 章

### 序論

## 1.1. 研究の背景と目的

1970年代頃から住戸数の充足とともに住居水準の向上が求められ、住居の閉鎖性等が批判されるようになった。<sup>註1)</sup> それと同時に集合住宅の室にも大きな変化が見られるようになった。そうした中で、住戸の玄関のような土足空間を広げ、そこを近隣住民との場にしようとする計画や、土足空間が居室としての役割を担うように計画されているもの等、公的な空間である共用部と住戸の関係を変えようとする提案が見られるようになった。一方でこのような計画では住人のプライバシーへの配慮が必要となる。<sup>註2)</sup>

本研究では、集合住宅において、住戸の土足空間、共用部の境界および住戸の室の配置を分析することで、①室の構成による土足空間の開放性の違いを明らかにすること、②開放的な土足空間をもつ住戸におけるプライバシーを考慮した計画手法を明らかにすることを目的とする。



新建築 2003年9月号 p151  
東雲キャナルコート 2街区

### 【脚注】

1) 参考文献1 2) 参考文献2

## 1.2. 既往研究

住戸と共用部の平面計画と境界の構成から公私の関係性を明らかにしたもの<sup>註3)</sup>や、視線による居住者のプライバシー侵害の可能性と被害意識の関係についてアンケート調査などから分析したもの<sup>註4)</sup>はあるが、土足空間に着目して、住戸の構成と開放性の関係を扱ったものはない。

### 【脚注】

3) 参考文献3 4) 参考文献4

### 1.3. 研究対象

『新建築』(新建築社)1970年1月号～2021年8月号に掲載されている、主要用途が集合住宅、共同住宅、長屋である建築で、共用部から土足空間が見えるような窓を持つ住戸、計190戸を研究対象とする。ただし、新建築に掲載されている図面及び写真から必要な情報が読み取れるものに限る。



## 第 2 章

### 分析方法

## 2.1. 分析方法

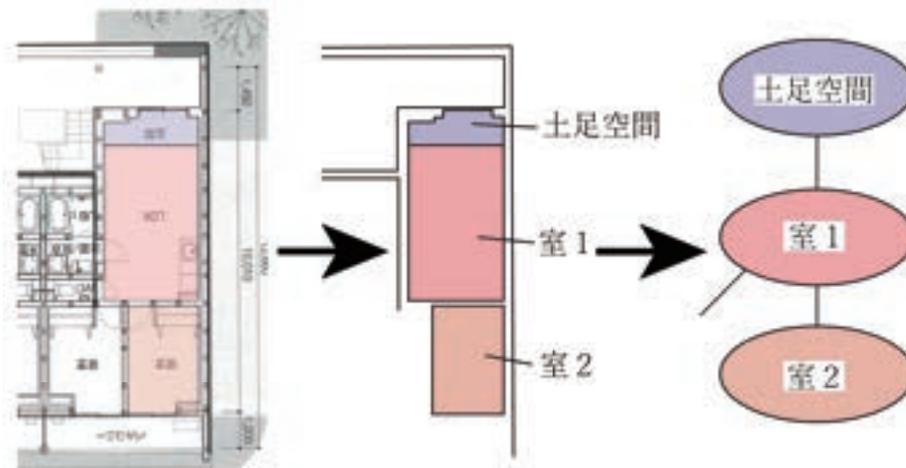
本研究は3段階の分析によって構成する。

「分析1」：対象の住戸を土足空間と隣接する室の構成から分類する。「分析2」：土足空間と共用部の境界の壁の透過率を算出し、分析1から得た分類ごとに比較する。「分析3」：分析2で明らかにした開放性の高いタイプにおいてプライバシーを確保する手法を図面から読み取る。

分析1, 2より、室の構成による土足空間の開放性の違いを明らかにし、分析3より開放的な土足空間を持つ住戸におけるプライバシーを考慮した計画手法を明らかにする。

## 2.2. 土足空間と隣接する室の構成による分類(分析1)

分析1では対象住戸の平面図から、土足空間と隣接する室の構成を図式化する。土足空間および各室を楕円で示し、それらの間で行き来が可能な場合は線でつないでいる。(図1)この図式をもとに土足空間に隣接する室に着目し、土足空間と隣接する室の数やそのつながり方から分類を行う。



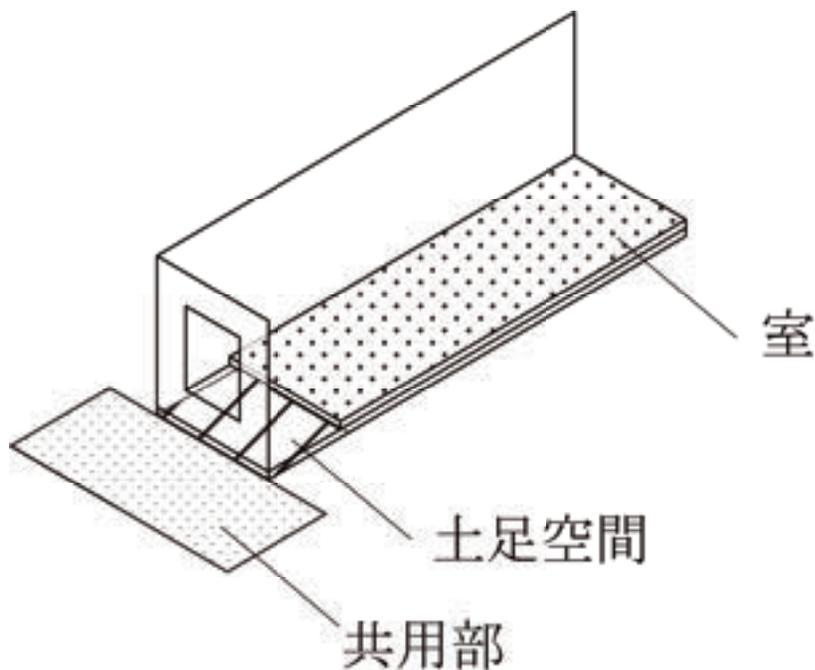
▲図1 室の構成の図式化

### 2.3. 土足空間と共用部の境界の透過率の算出と比較(分析2)

対象住戸における土足空間と共用部の境界にある壁における「壁の透過率」を図2の公式より求める。「壁の透過率」はどれほど共用部から土足空間への視線を通すかを示し、最大値を1とする。分析1で得た各分類ごとに「壁の透過率」の平均値を求めることで、室の構成による土足空間の共用部への開放性の違いを比較する。

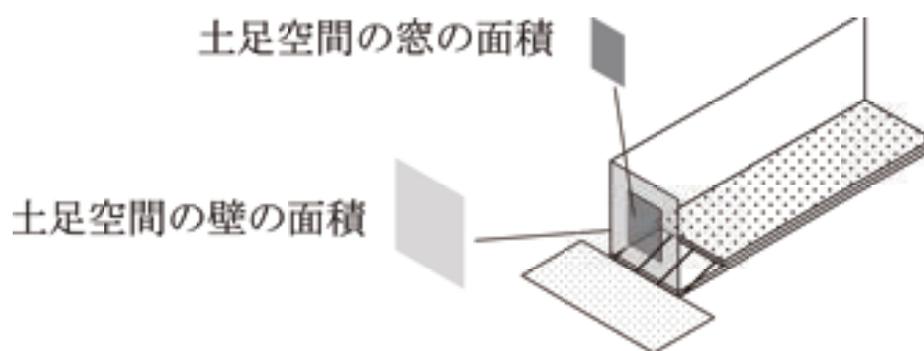
$$\frac{\text{土足空間の窓の面積}}{\text{土足空間の壁の面積}} \times \text{窓の透過率} = \text{壁の透過率}$$

▲図2 「壁の透過率」の公式



### 2.3.1. 土足空間と共用部の境界の壁と窓の面積 (分析2)

土足空間と共用部の境界となっている壁および窓の面積 (図3) からその土足空間の「窓の面積率」を算出する。

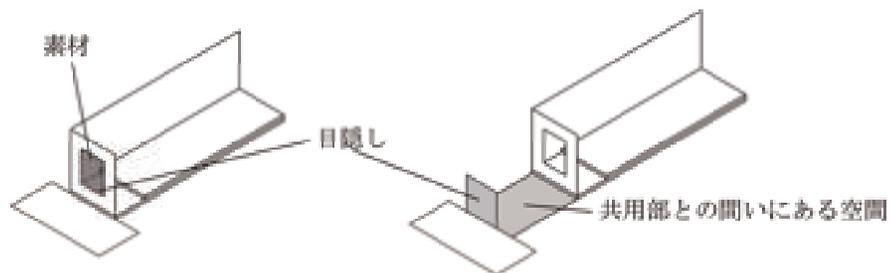


▲図3 「窓の面積率」の公式

### 2.3.2. 窓の透過率 (分析2)

土足空間と共用部の境界にある窓について視線がどれほど通るかを数値化した「窓の透過率」を算出する。「窓の透過率」は窓の素材、目隠し、共用部との間にある空間等の各要素の透過率の積から算出する。(図4) この時の「各要素の透過率」の評価は表1に示す。

素材の透過率 × 目隠しの透過率 × 共用部との間にある空間の透過率 = 窓の透過率



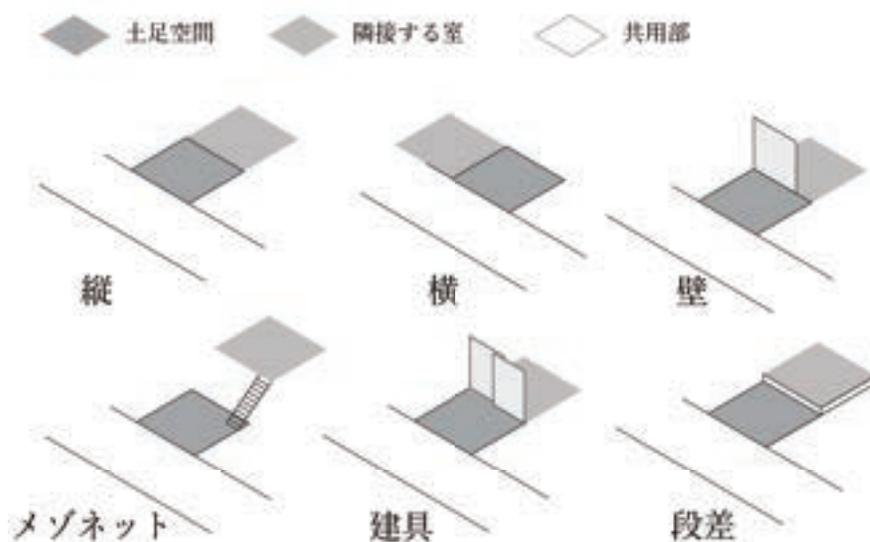
▲図4 「窓の透過率」の公式

▼表1 各要素の透過率

素材の透過率		目隠しの透過率		共用部との間にある空間の透過率	
ガラス	1	障子	0.5	前庭	0.9
木格子	0.6	カーテン	0.5	テラス	0.9
すりガラス	0.3	ルーバー	0.6	廊	0.9
ガラスブロック	0.2	ブラインド	0.5	段差	0.9
ジャロジー	0.5	エキスパンドメタル	0.7	ブリッジ(離れ)	0.7
		植物	0.7		

## 2.4. プライバシー保護のための建築手法 (分析3)

分析2で得た開放性の高いタイプにおいて、それぞれの住戸の平面図を用いて境界の壁から土足空間以外の室が見えるか、また、見えない室はどこにあるかを図面から読み取る。(図5)



▲図5 土足空間に隣接する室の位置

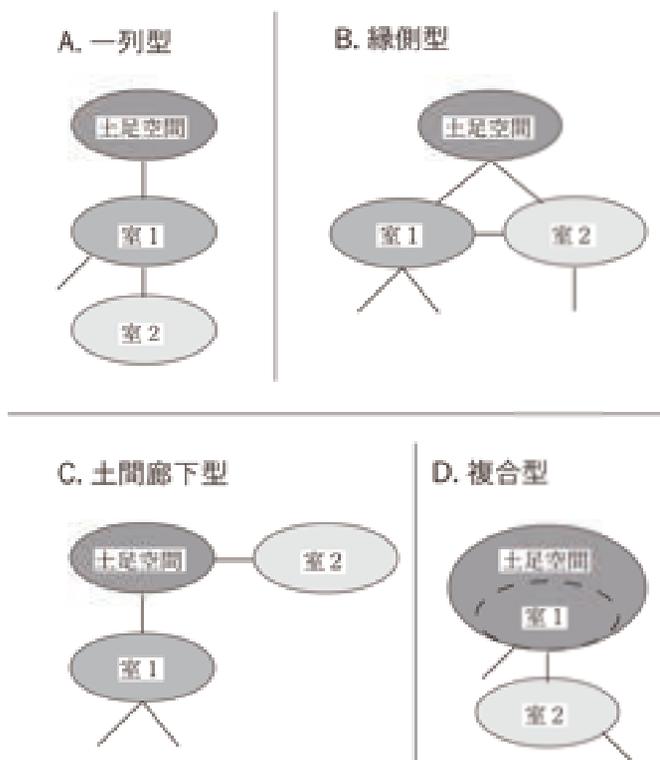


## 第 3 章

### 分析結果

### 3.1. 土足空間と隣接する室の構成による分類(分析1)

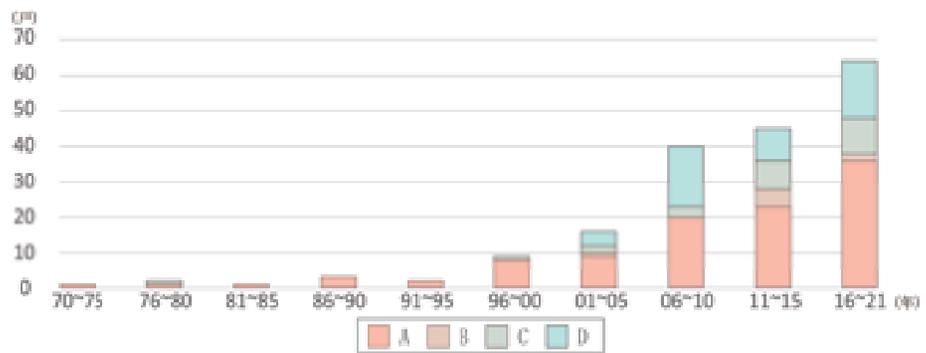
分析1の結果を図6に示す。(A) 土足空間に一つの室が隣接しているもの、(B) 土足空間に室が二つ隣接しているが、その二室同士はつながっており、土足空間を介することなく行き来ができるもの、(C) 土足空間に室が二つ隣接しているが、その二室は土足空間や壁によって分断されており、土足空間を介することなく行き来ができなくなっているもの、(D) 土足空間自体が居室として計画されているものに分類することができた。対象住戸における各類型の内訳は(A)タイプが最も多かったが、現在に近づくにつれ、(C)・(D)タイプの数が増えている。(表2)(図7)



▲図6 室の構成による分類

▼表2 各類型の住戸数

タイプ	対象住戸数
A. 一列型	104
B. 縁側型	11
C. 土間廊下型	26
D. 複合型	49
計	190



▲図7 年代による対象住戸数の推移

### 3.2. 土足空間と共用部の境界の透過率の算出とタイプごとの比較(分析2)

分析2の結果を表3に示す。(A)・(B)タイプに比べ(C)・(D)タイプの「壁の透過率」の平均値は0.1以上高かった。従って(C)・(D)タイプの土足空間の開放性が高いことが明らかになった。

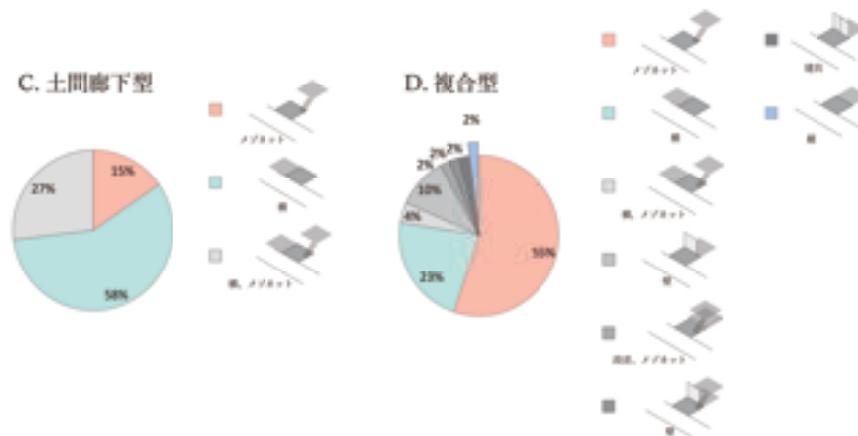
▼表3 各類型の「壁の透過率」の平均値

タイプ	平均透過率
A	0.514
B	0.588
C	0.696
D	0.694

### 3.3. プライバシー保護のための建築手法 (分析3)

透過率の高かった (C)・(D) タイプを対象に分析3を行った結果を図8に示す。土足空間と隣接する室の位置は、(C)タイプでは、土足空間の横に配置したものが半数以上と最も多かった。一方(D)タイプではメゾネット方式で配置したものが半数以上を占め、横に配置したものの数は少なかった。

以上より、集合住宅において、(C)・(D)タイプで見られるような住戸構成のものは開放的な土足空間を持つことが多いが、その際プライバシーは、メゾネット方式や土足空間の横に室を配置することで保護するように計画されている場合が多いことを明らかにした。



▲図8 各類型における土足空間に隣接する室の位置



## 第 4 章

### 結論

本研究では、土足空間とそれに隣接する室の構成による土足空間の共用部に対する開放性の違いを明らかにし、(C)・(D)タイプといった住人が日常生活で土足空間を使う機会が多い構成のものが開放的な土足空間を持つことがわかった。このことから住人の様子が共用部に対して見られるような住戸を計画することを目的として開放的な土足空間が計画されることが多いことが推察される。一方で、プライバシーの保護の観点から、開放的な土足空間を持つような住戸では土足空間に隣接する室は共用部から見えにくいような位置に配置されることがわかった。以上より、玄関のような土足空間を開放的にする一方で隣接する室を隠すように配置することでプライバシーを確保しながら、近隣住民との公共的な空間を持つ住戸を計画している建築が多くみられることがわかった。

## 参考文献

### [参考文献]

- 1) 日本建築学会 『コンパクト建築設計資料集成第3版』丸善出版 2005年 p148
- 2) 江上 徹 「nLDK 批判をめぐる諸理念・諸議論の系統的整理：後編－計画学のための基礎的考察 その3」『九州産業大学工学部研究報告 42号』 2006年 pp325-334
- 3) 月浦 泰隆 他 「集合住宅における住戸と共用部の空間計画と開放的な境界の構成にみる公私の関係性 その1」『日本建築学会大会学術講演梗概集』2019年9月 pp1221-1222  
「集合住宅における住戸と共用部の空間計画と開放的な境界の構成にみる公私の関係性 その2」『日本建築学会大会学術講演梗概集』2019年9月 pp1223-1224
- 4) 吉田 哲 他 「集合住宅における視線による居住者のプライバシー被害の可能性と被害意識の関係」『日本建築学会大会学術講演梗概集』1997年10月 pp103-110



謝辭



本研究に際し、途中で分析が行えないことになり、新たな枠組みで研究をすることになったことからなかなか研究の枠組みが定まらない中でも最後まで暖かい指導をしていただいた坂牛先生に深く感謝申し上げます。説明不足な自分の発表でも、何を明らかにしたいのか、目的は何なのか、丁寧に話を聞いてくださったおかげで、研究の枠組みを定め、論文としてまとめることができました。

また、梗概の赤入れでは細かい誤字から、わかりにくい言葉遣いの訂正まで丁寧に添削していただいた博士課程の平田さん、わざわざ時間を作り zoom でアドバイスや指導をしてくださった修士課程の清水さん、研究室で見かけるたびに声をかけてくださり、アドバイスをくれた山田さんにも深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

2021年11月15日 小林泰



データシート

NO.1 terrace H

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



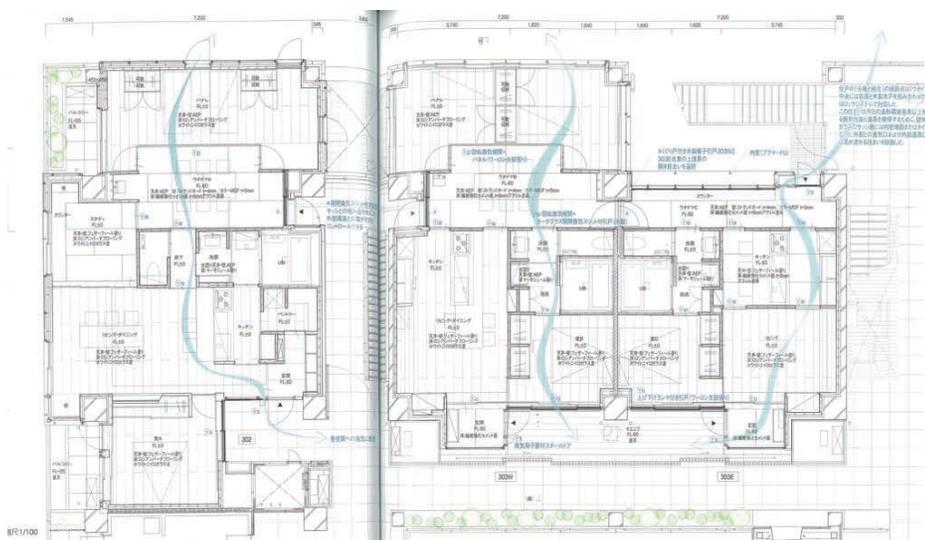
NO.2 大阪ガス実験集合住宅 503

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	0.5	0.15



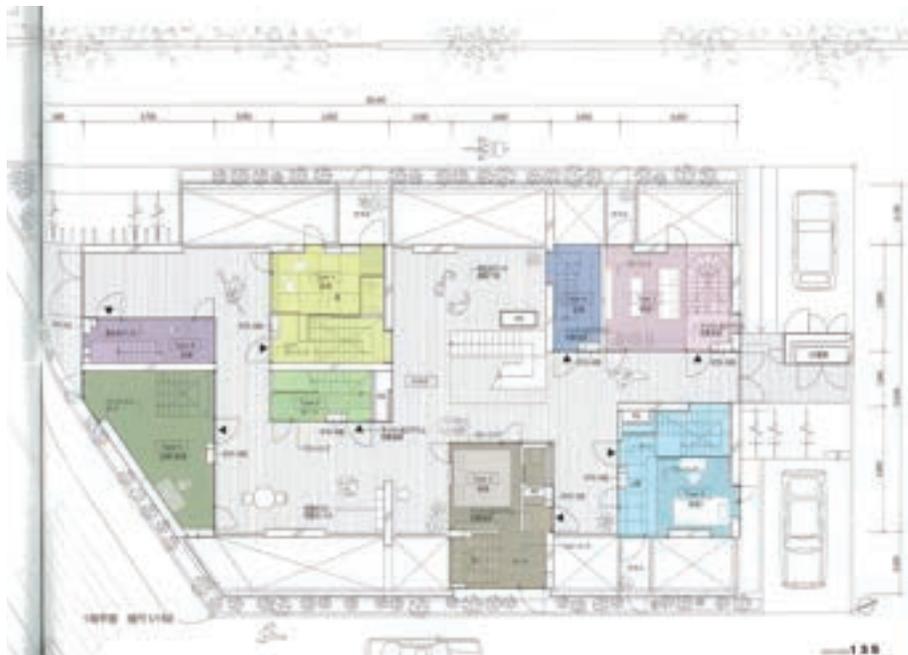
NO.3 大阪ガス実験集合住宅 303

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



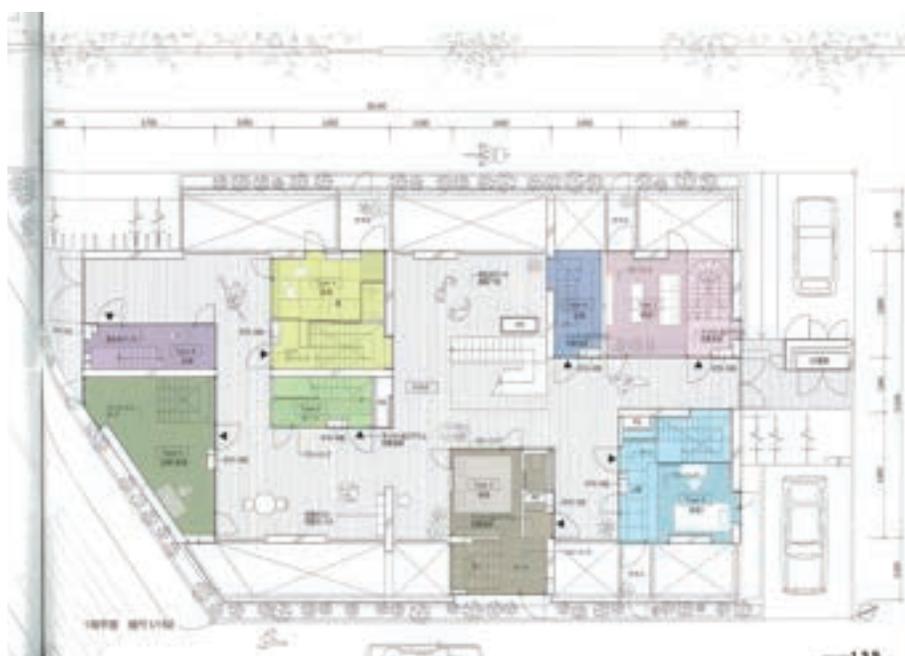
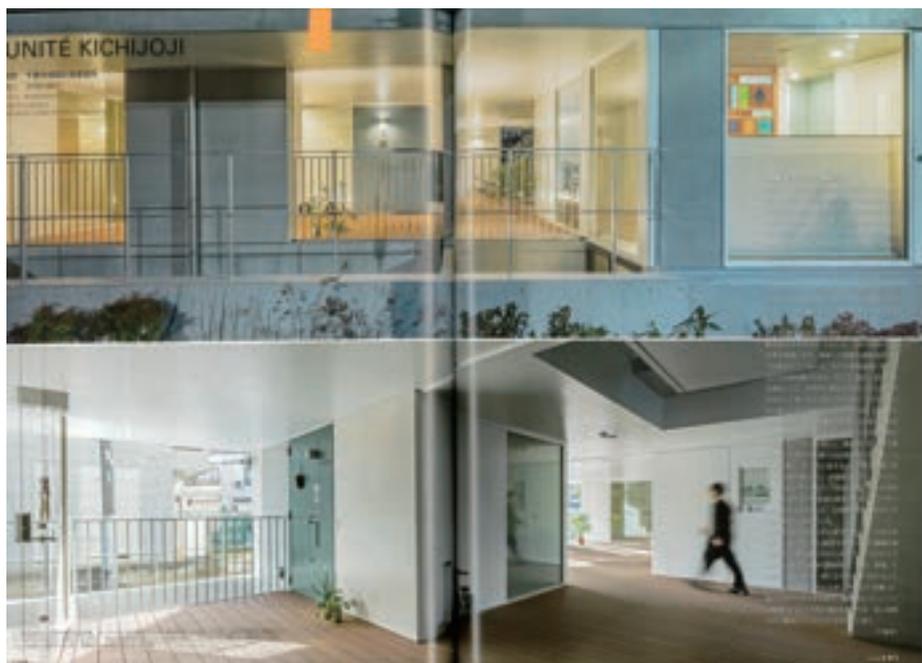
NO.4 ユニテ キチジョウジ 2号室

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	1	0.60



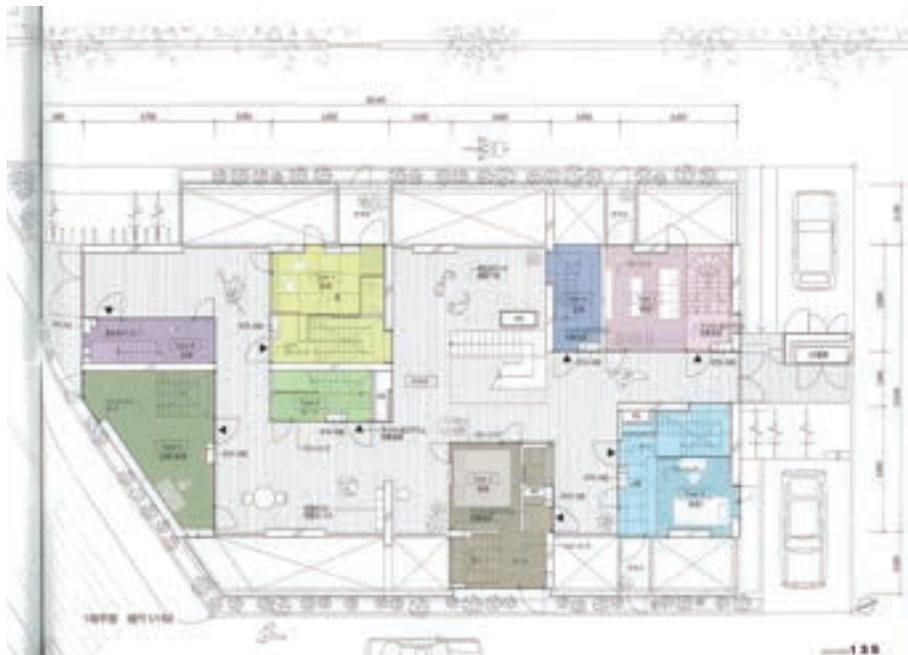
NO.5 ユニテ キチジョウジ 8号室

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



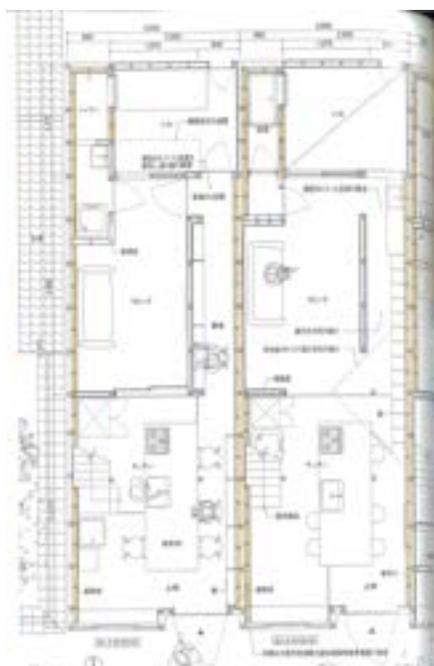
NO.6 ユニテ キチジョウジ 4号室

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



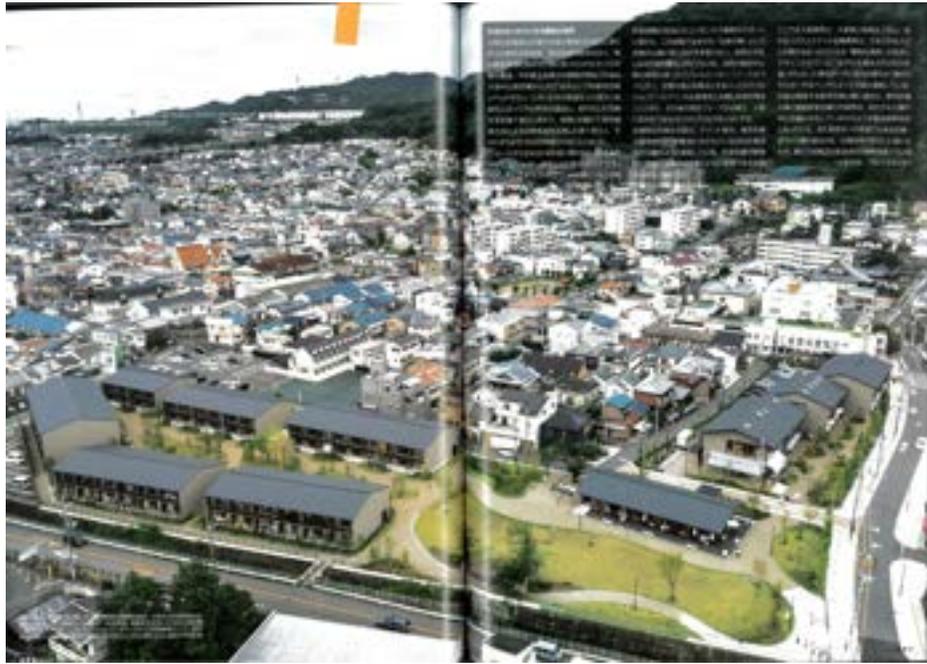
NO.7 林寺二丁目長屋

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.66	0.3	0.20



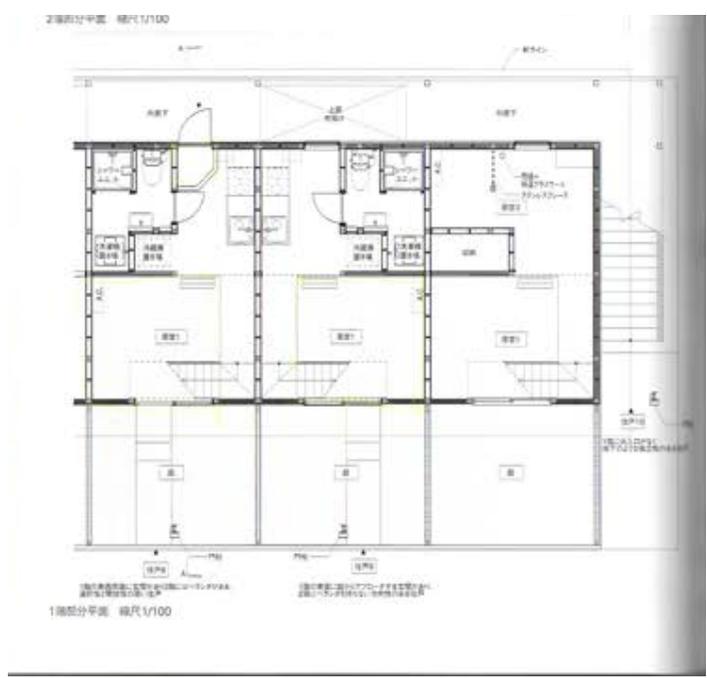
NO.8 morineki

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	0.6	0.25



NO.9     ハイツ H

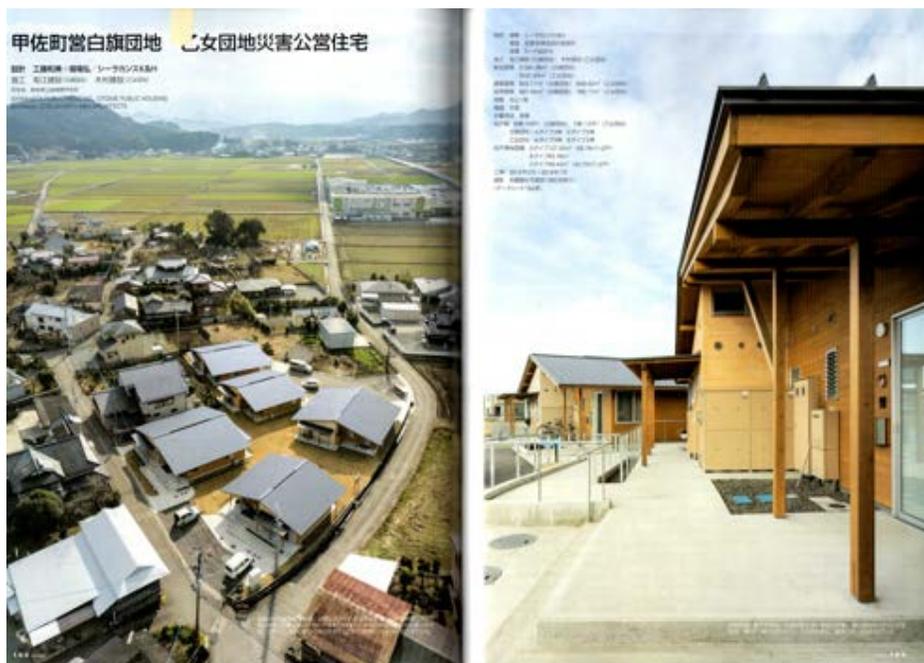
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.9	0.45





NO.11 乙女団地

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



NO.12 はねとくも

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



NO.13 住宅地の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.14 ミドリノオカテラス A

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.15 ミドリノオカテラス H

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.16 ミドリノオカテラス I

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.17 セタガヤテラス A

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.9



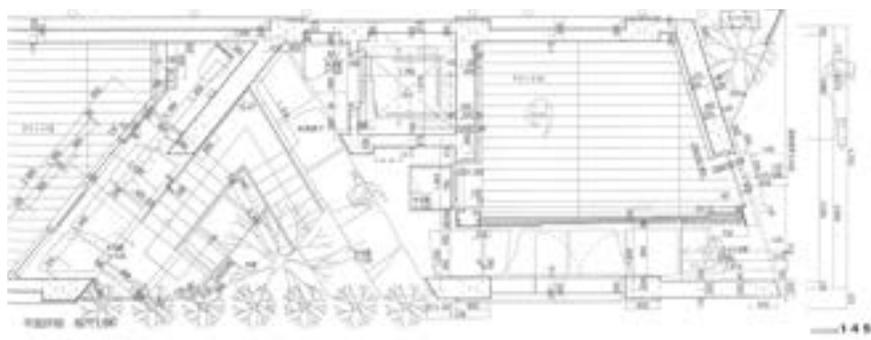
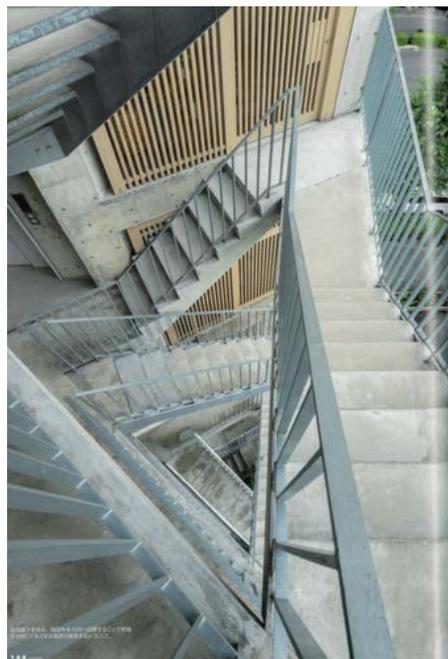
NO.18 セタガヤテラス H

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



NO.19 大池薬局ビル

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54

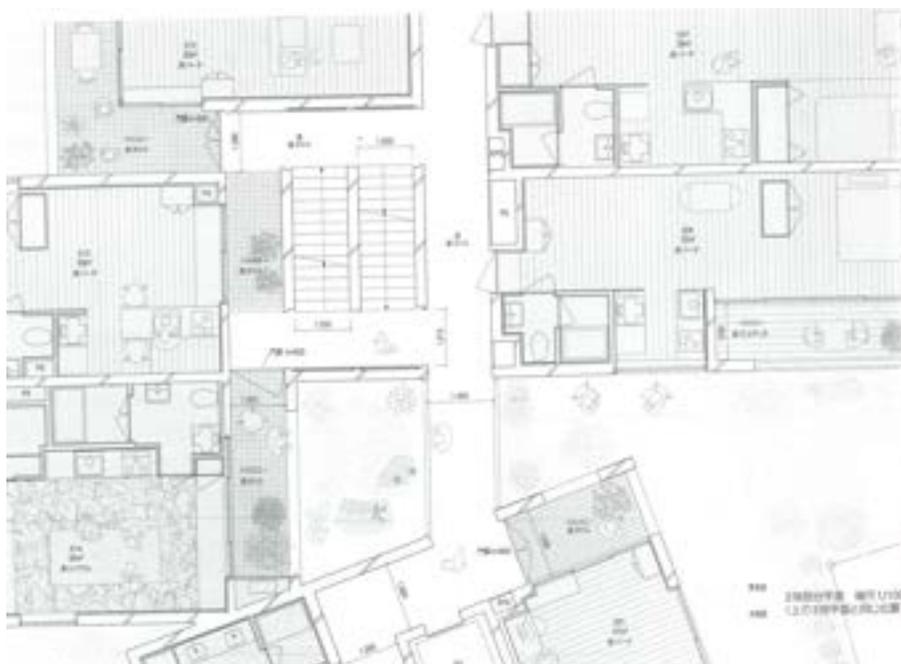


NO.20 上馬アパートメント 213

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.9	0.72



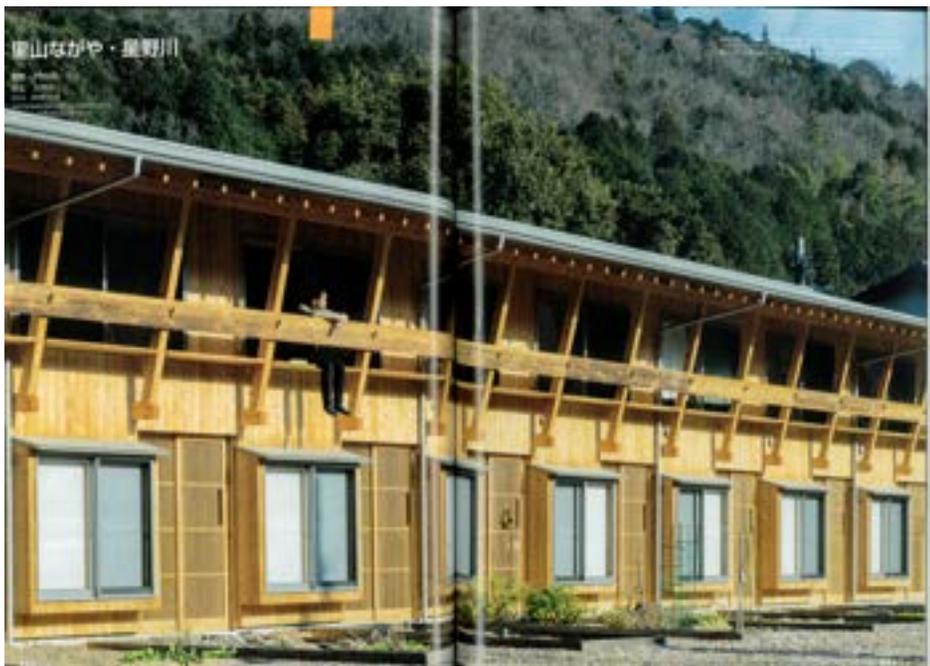
NO.22 西葛西 apartments

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



NO.23 里山ながや・星野川

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
1	0.6	0.60



NO.24 櫛の音 terrace 101

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.29



NO.25 櫛の音 terrace 201

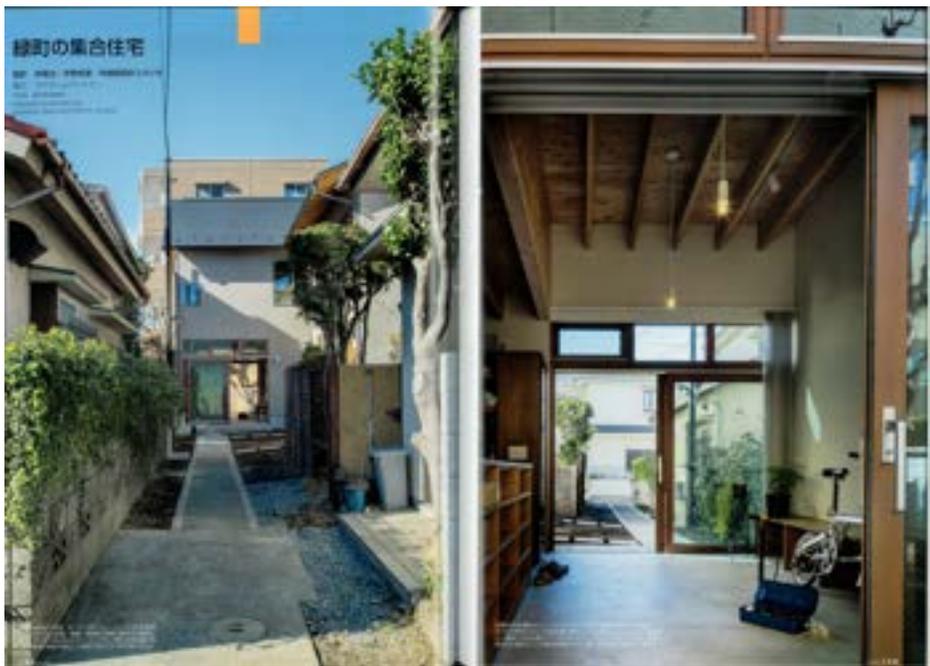
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.2	1	0.17





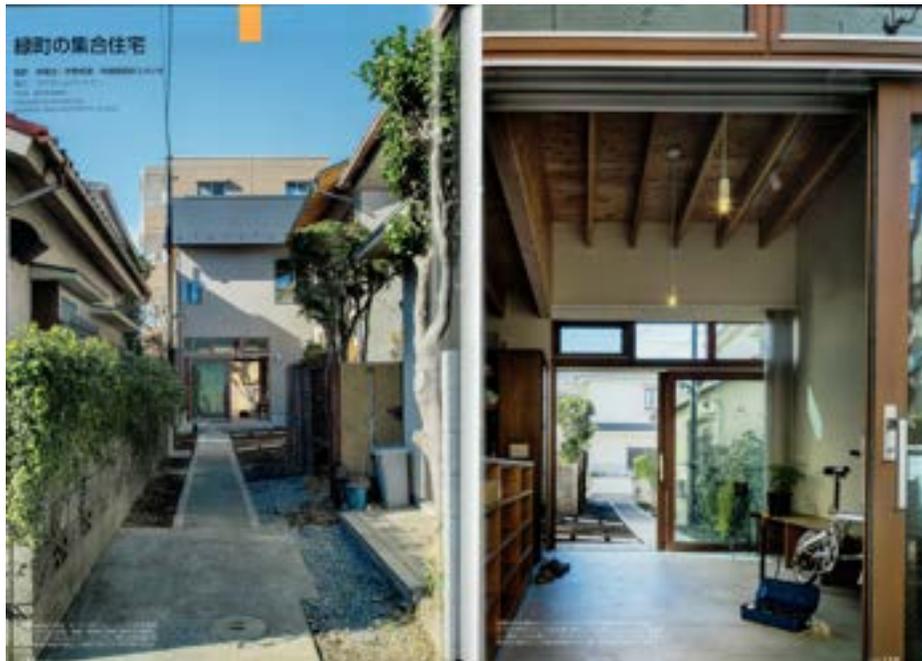
NO.27 緑町の集合住宅 unit1

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
1	1	1



NO.28 緑町の集合住宅 unit2

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.33



NO.29 chronos dwell

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
1	0.5	0.5



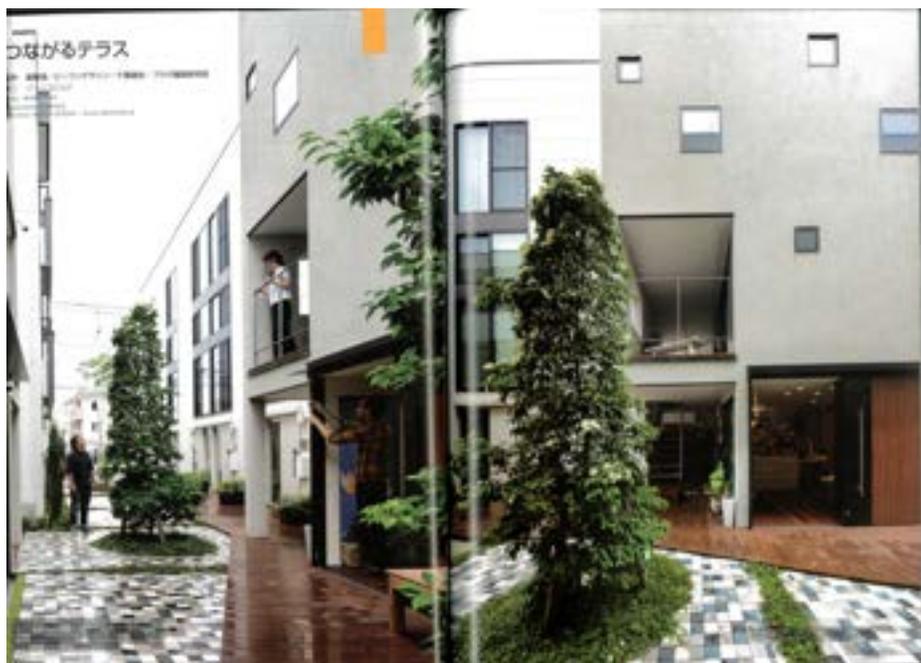
NO.30 the hill

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



NO.31 つながるテラス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



NO.32 玉川台アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.9	0.45



配置平面 縮尺1/300

NO.33 糸魚川市駅北大火復興住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



2階平面 縮尺1/400



1階平面 縮尺1/200

NO.34 成安造形大学アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.9	0.59



NO.35 モリテラス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



NO.36 五本木の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



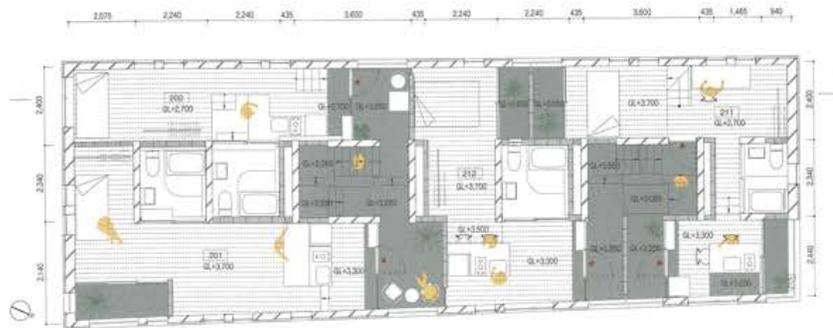
NO.37    timbered terrace

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



NO.38 荘 kazari 201

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.33



階平面 縮尺1/150

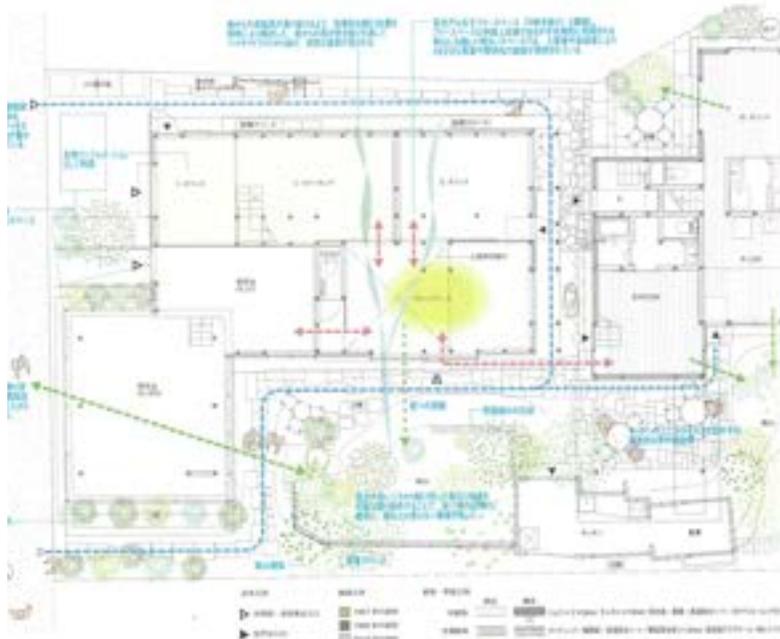
NO.39 荘 kazari 101

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.33



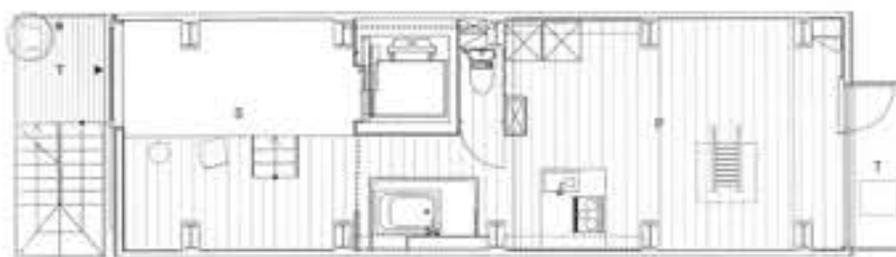
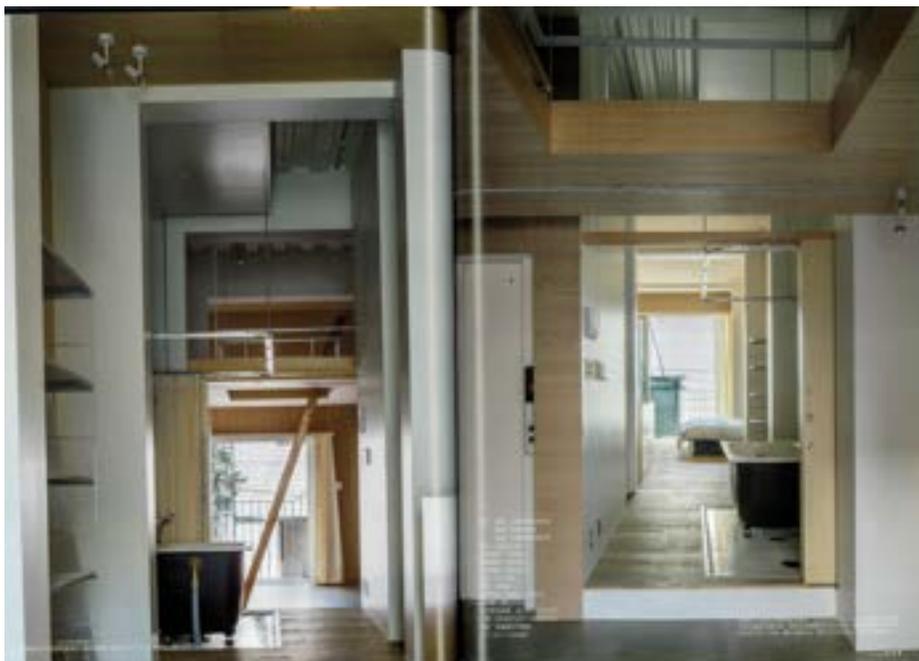
NO.40 ミナガワビレッジ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



NO.41 富沢小径 4階

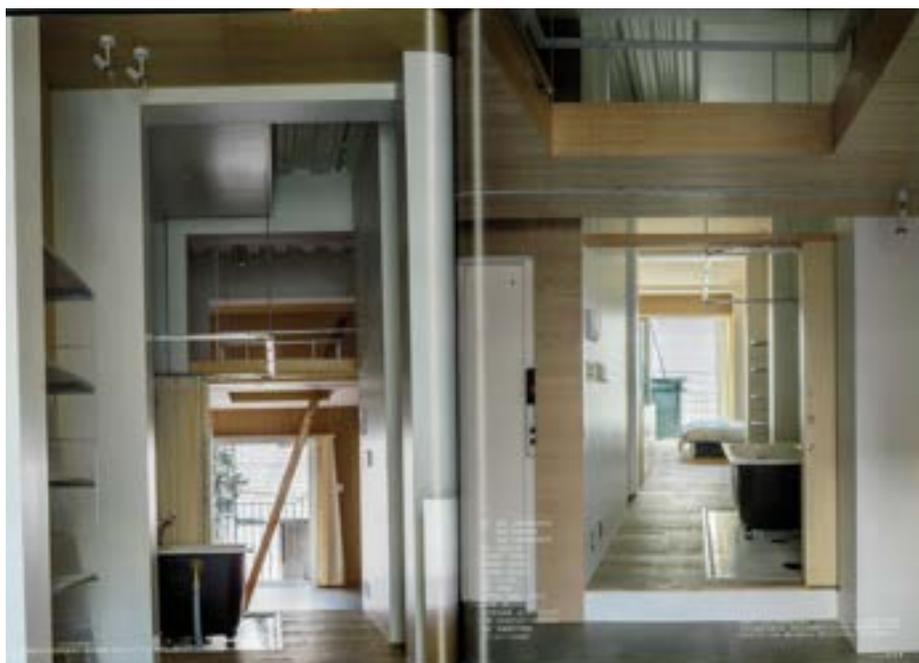
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



4階平面

NO.42 富沢小径 3階

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.5	0.23



NO.43 目白下落合ハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



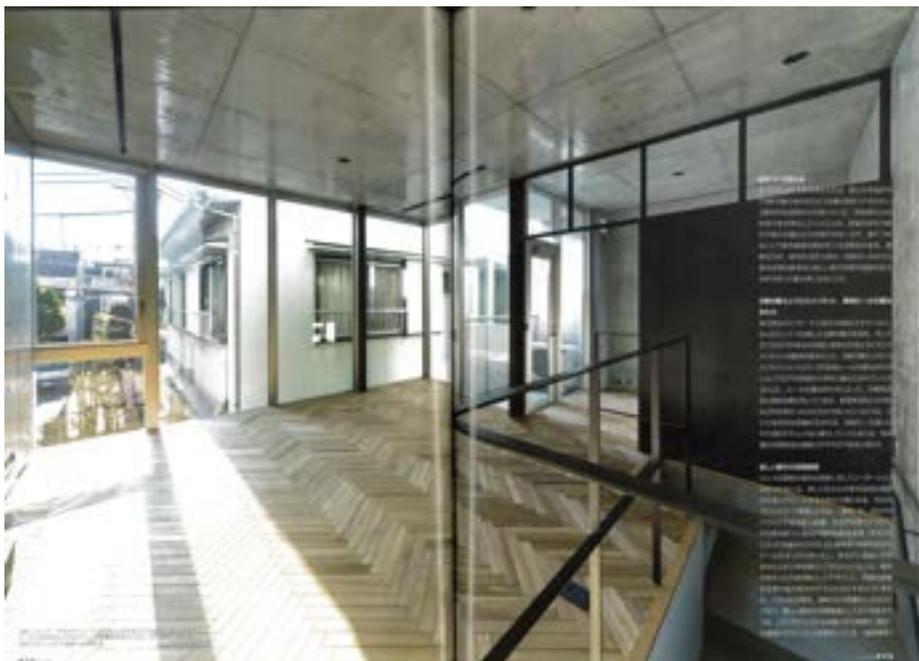
NO.44 ニシオギソウ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.45 代々木テラス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.86



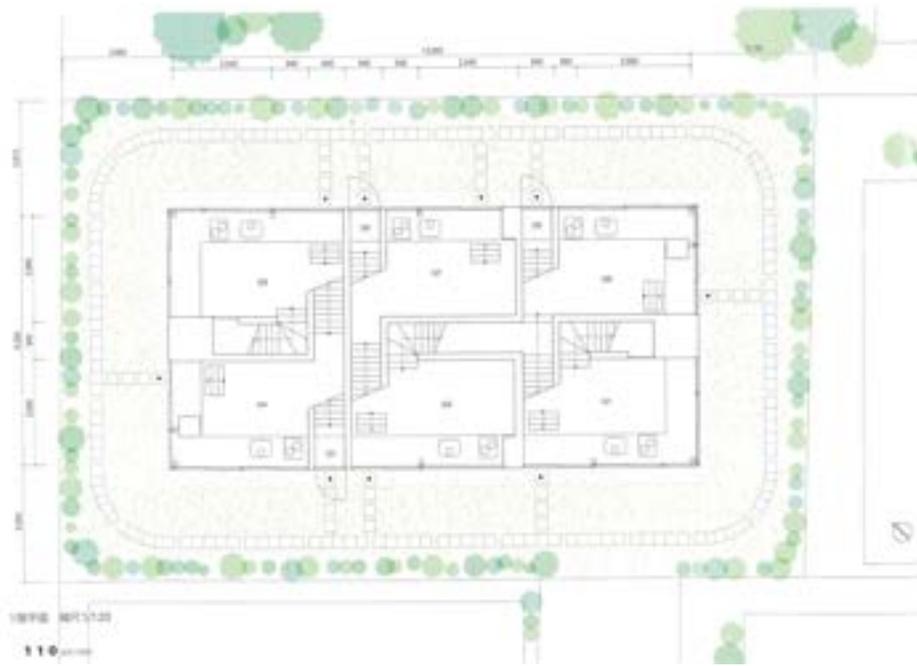
NO.46 緑ヶ丘のコラボティブハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



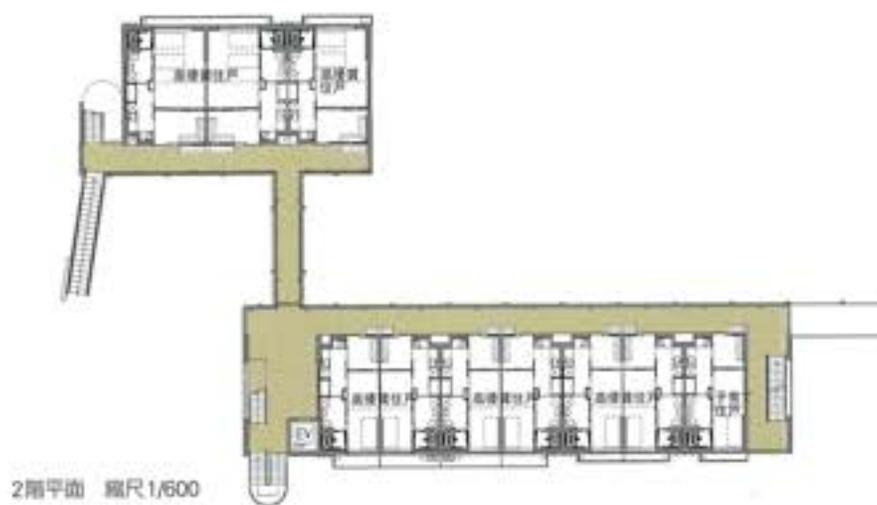
NO.47 gururi

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.48 大倉山シニアハウス+

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.43



NO.49 都路地区公的賃貸住宅・集会場

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



NO.50 山之内元町長屋

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



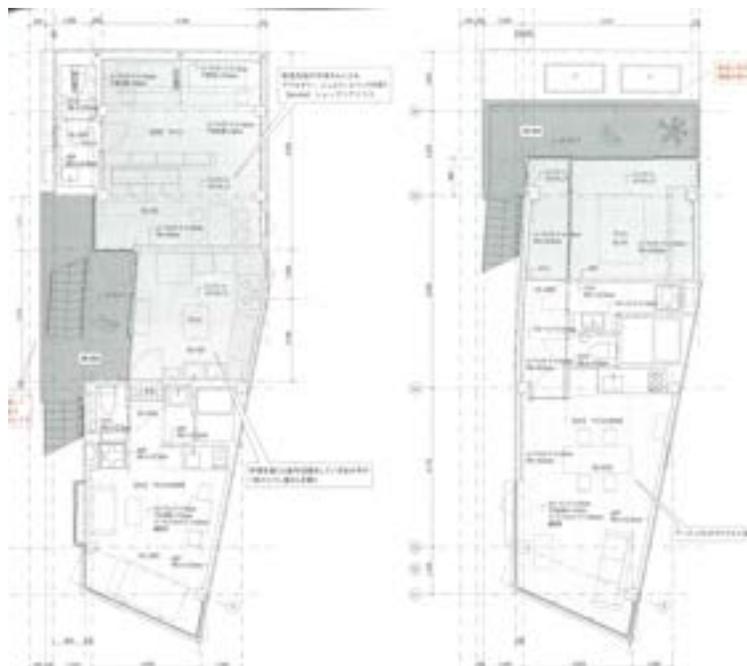
NO.51 晒屋町の長屋群

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



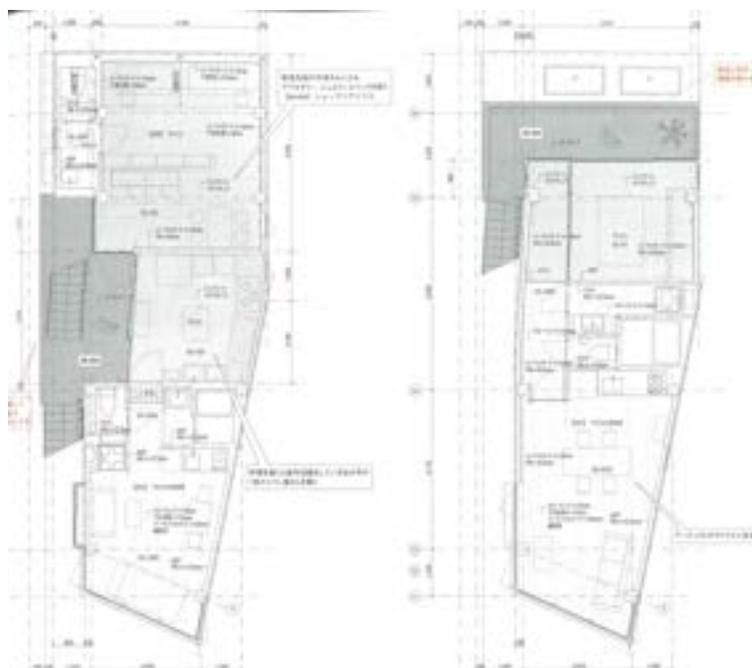
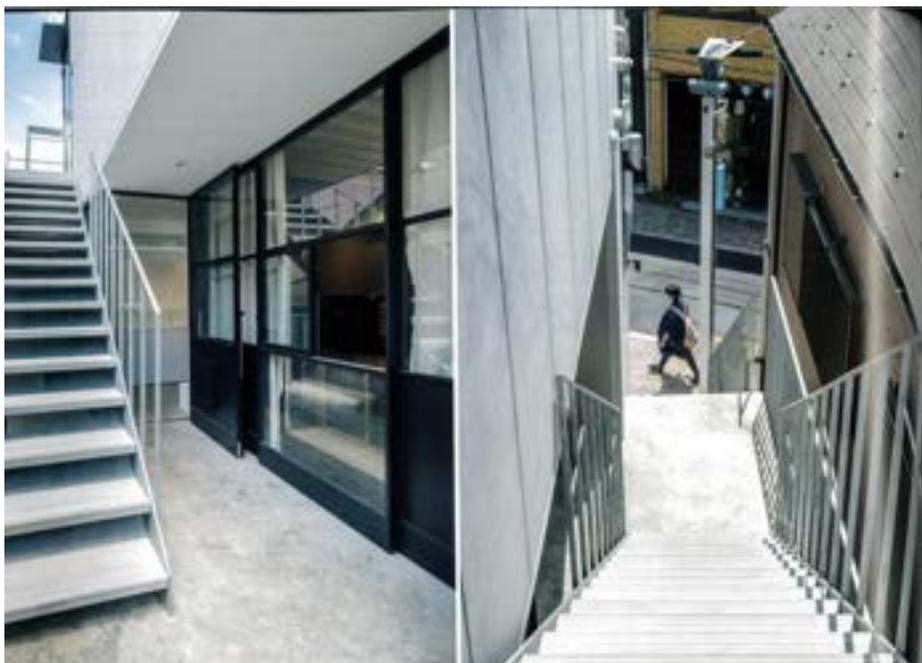
NO.52 KITAYON

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.45



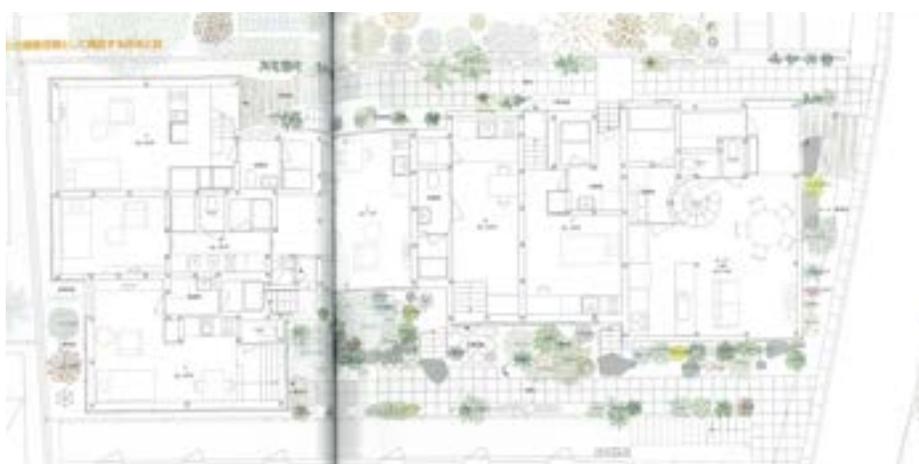
NO.53 KITAYON

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.5	0.25



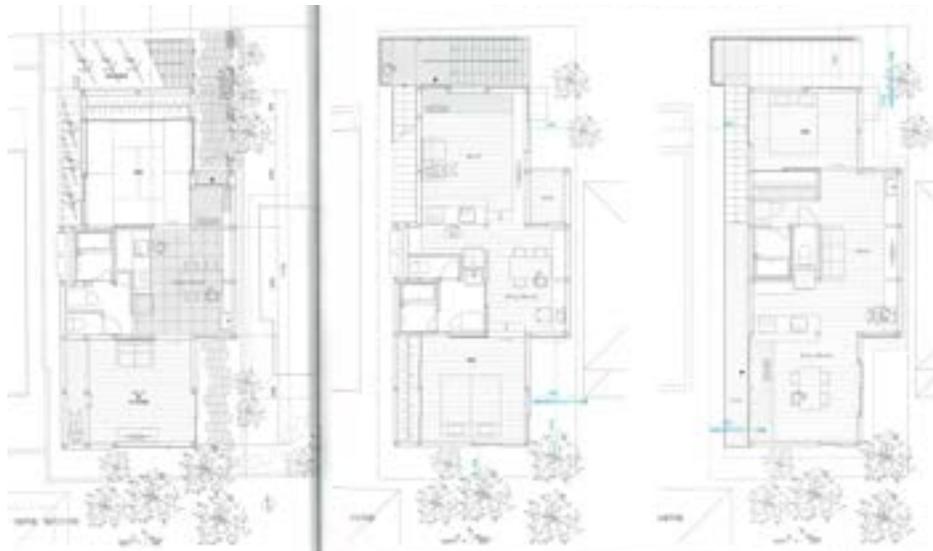
NO.54 二子アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.55 three-family house

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.56 sasū • ke

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



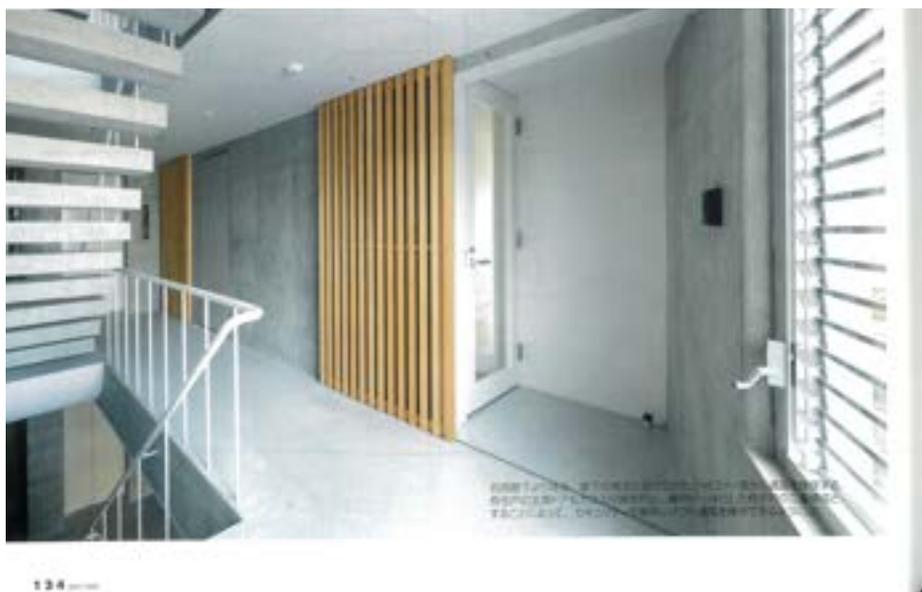
NO.57 k town

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.33



NO.58 風光舎

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



NO.59 m terrace A

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54



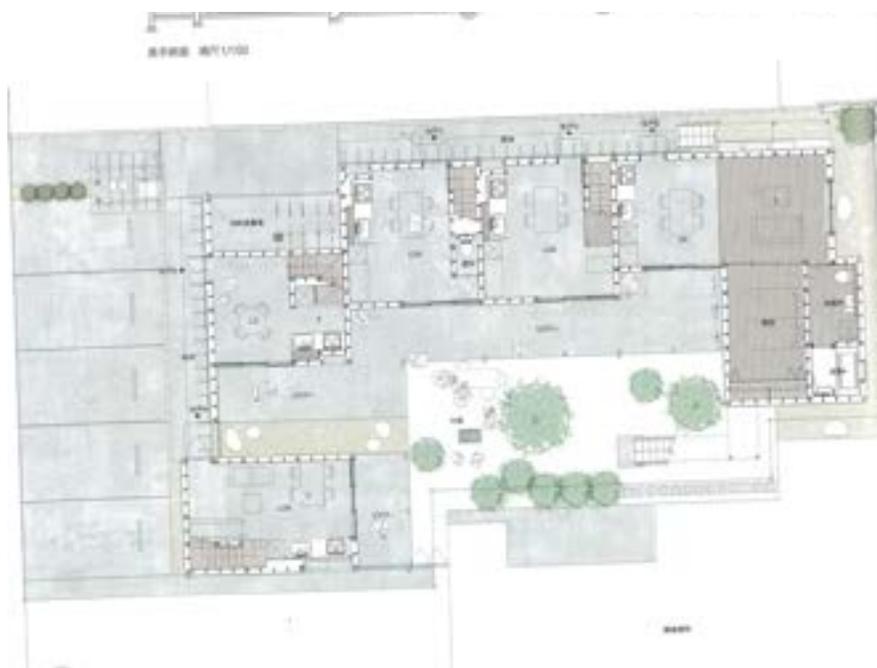
NO.60 m terrace B

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54



NO61 田中西春菜町の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



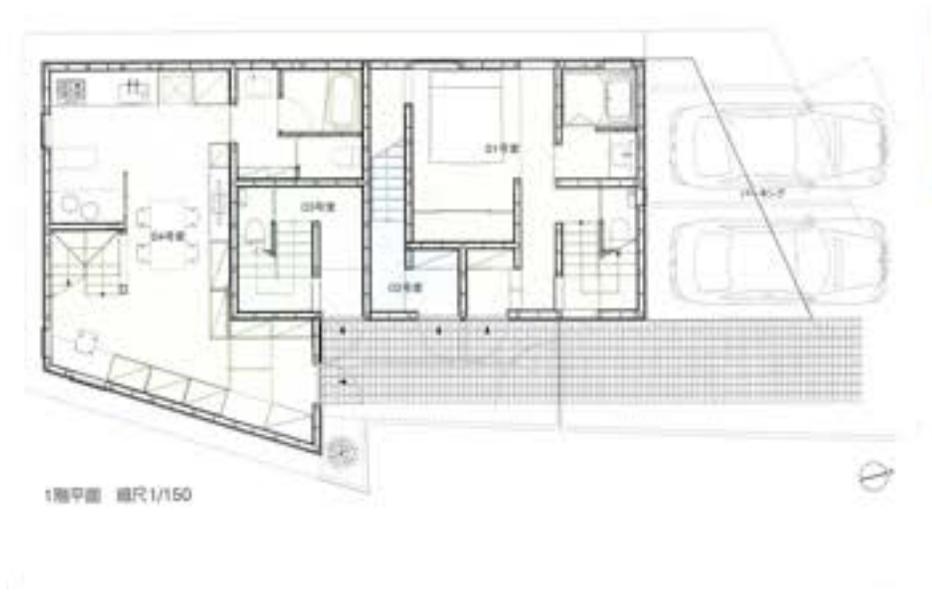
NO.62 decks

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



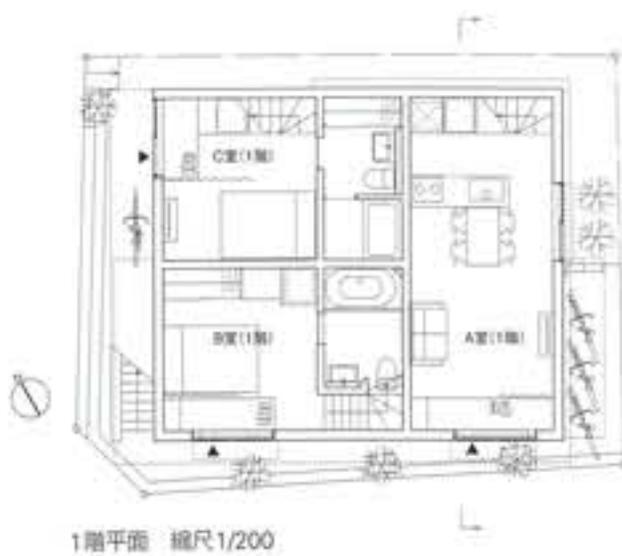
NO63 forme setagaya

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.33



NO.64 トヨシキ・ワールドアパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	0.3	0.09



NO.65 釜石市天神復興住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.3	0.24



NO.66 矢吹町中町第一災害公営住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.5	0.38



NO.67 オンザパーク

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.5



NO.68 赤羽の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



NO.69 江南ハウジング

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



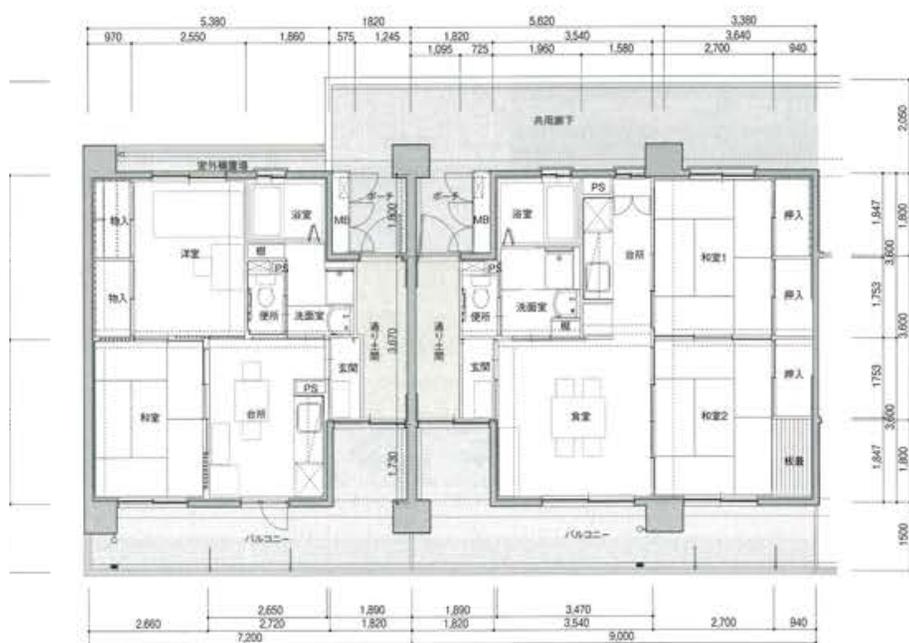
NO.70 大阪ガス実験集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.71 南三陸町 町営入谷復興住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90





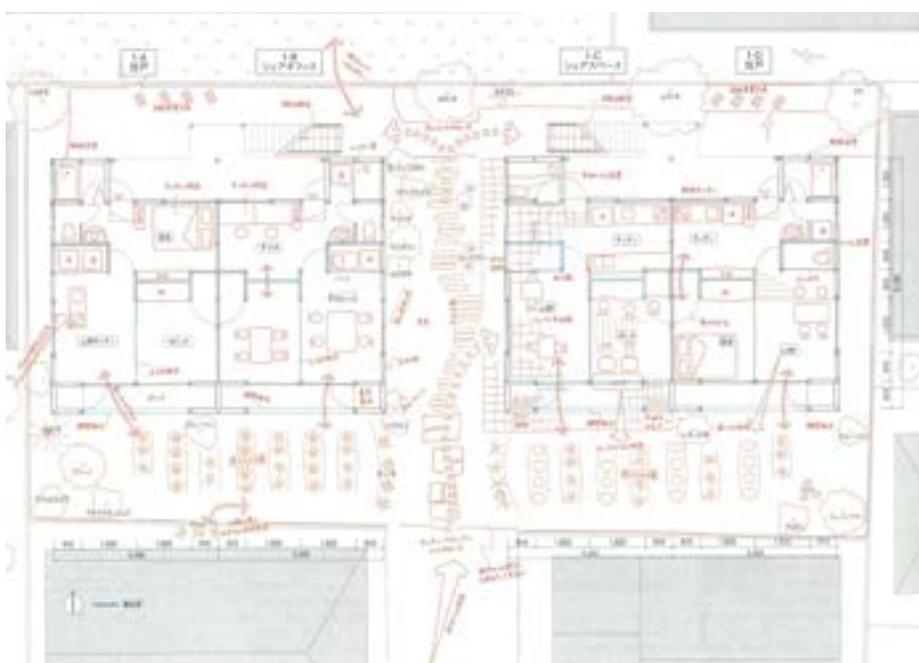
NO.73 大森ロッジ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.5	0.23



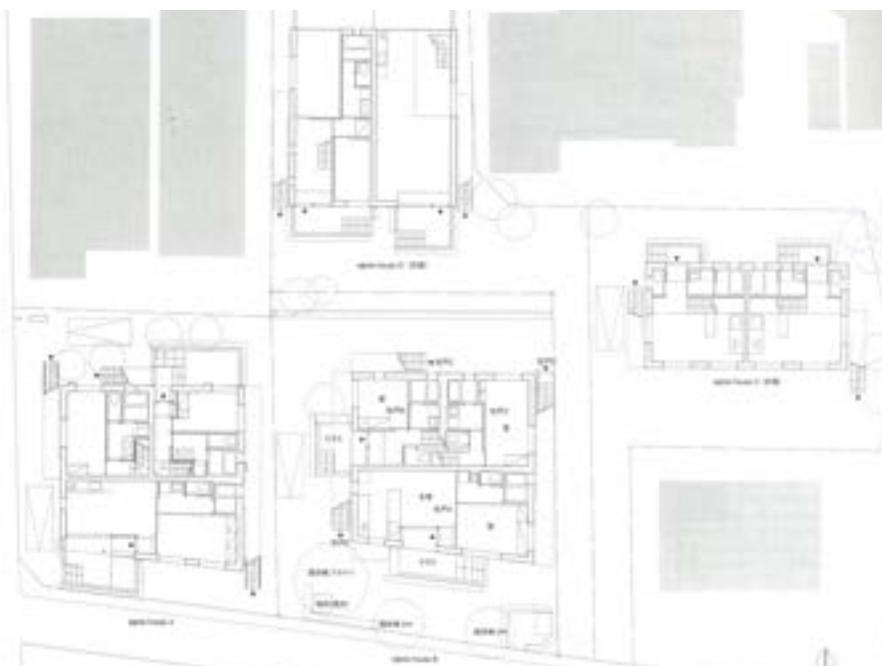
NO.74 ワカミヤハイツ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.67



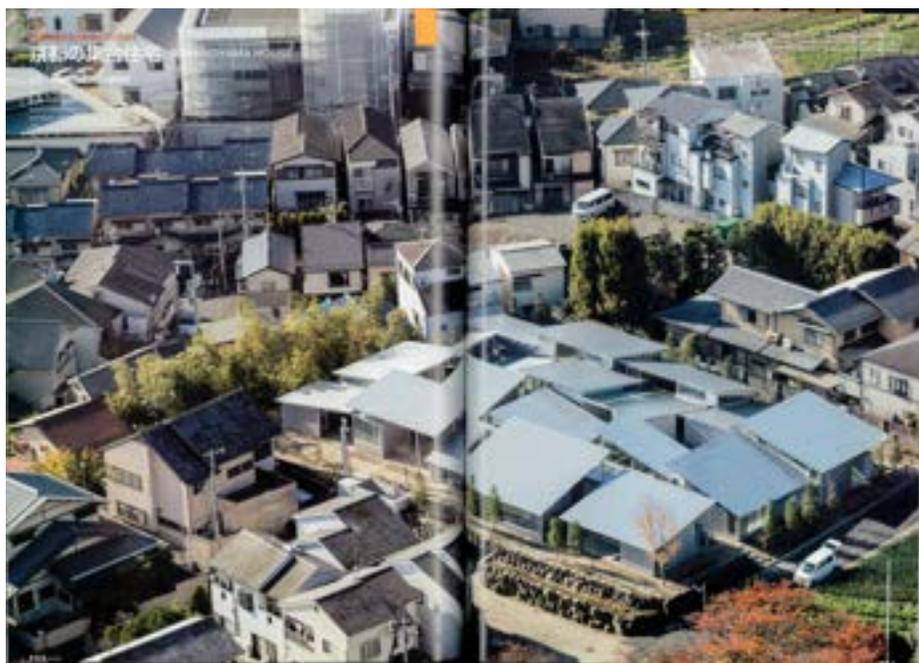
NO.75 egota house B

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.76 京都の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.77 dragon court village

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	0.6	0.24

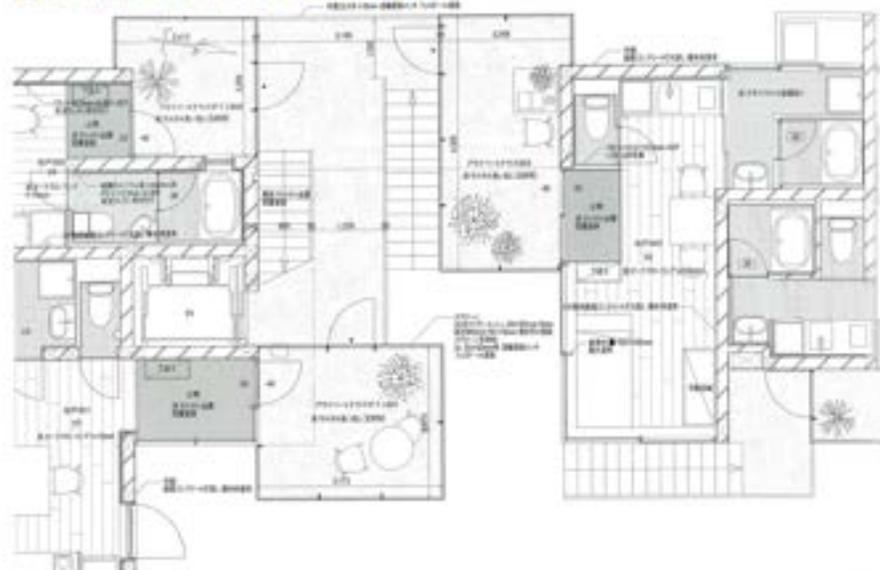


NO.78 西麻布の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.9	0.72

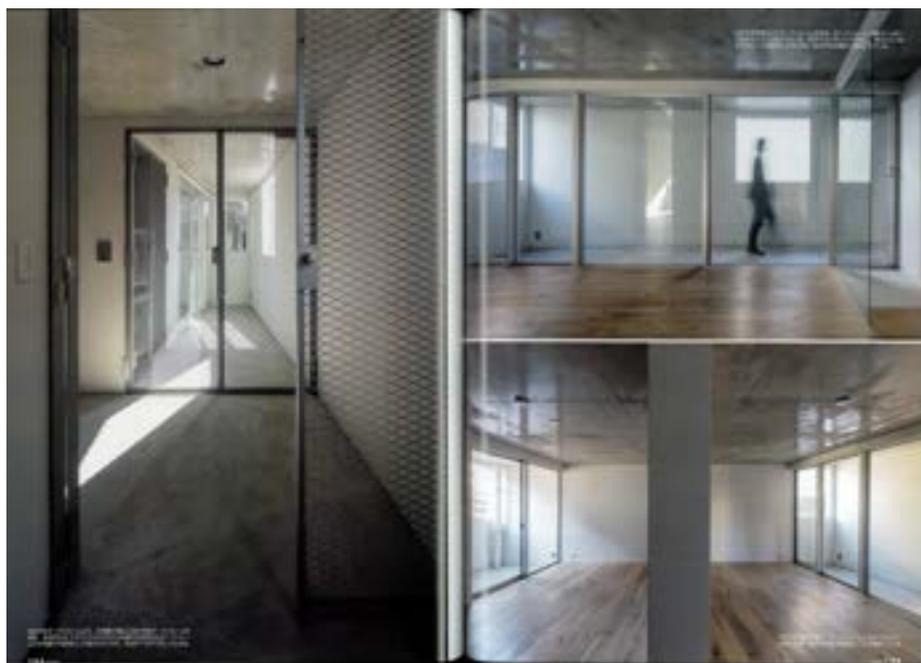


占有部と共用部とを繋げるためのプライベートテラス



NO.79 oggi

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.6	0.42



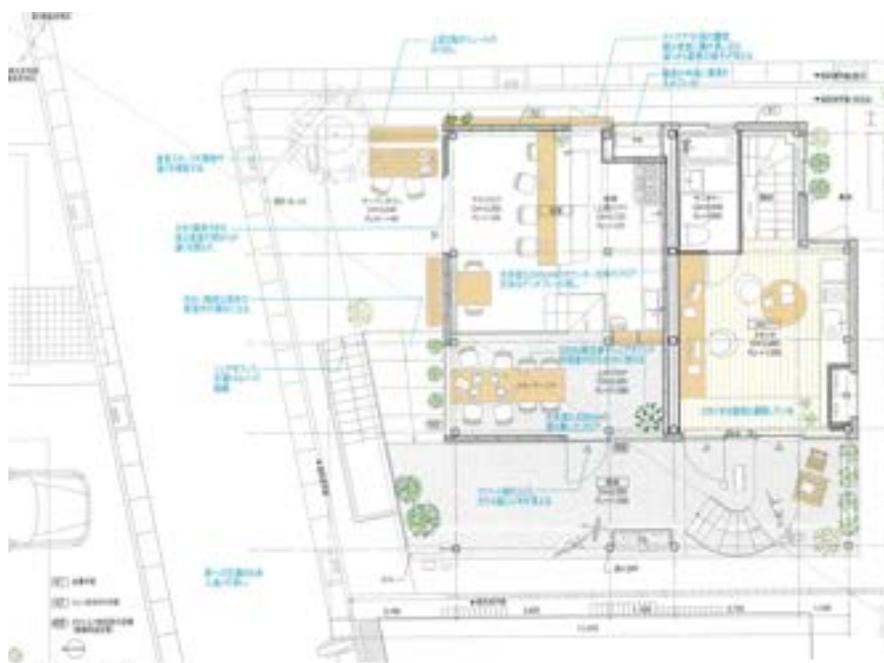
NO.80 亀甲新

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.7	0.53



NO.81 食堂付きアパート

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.9



NO.82 鹿手袋の長屋

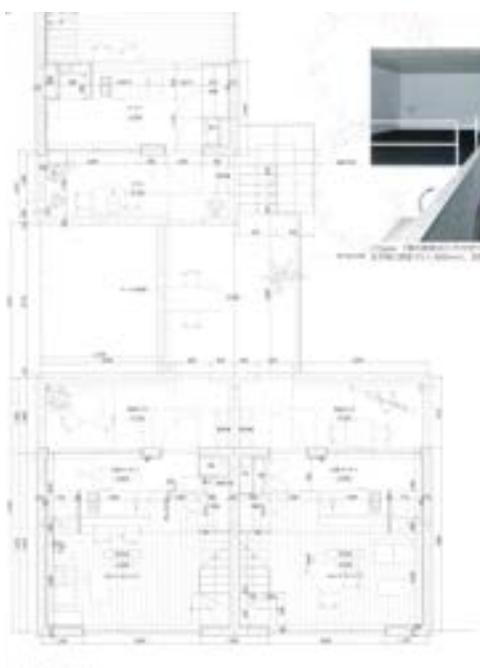
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
1	0.3	0.30



---

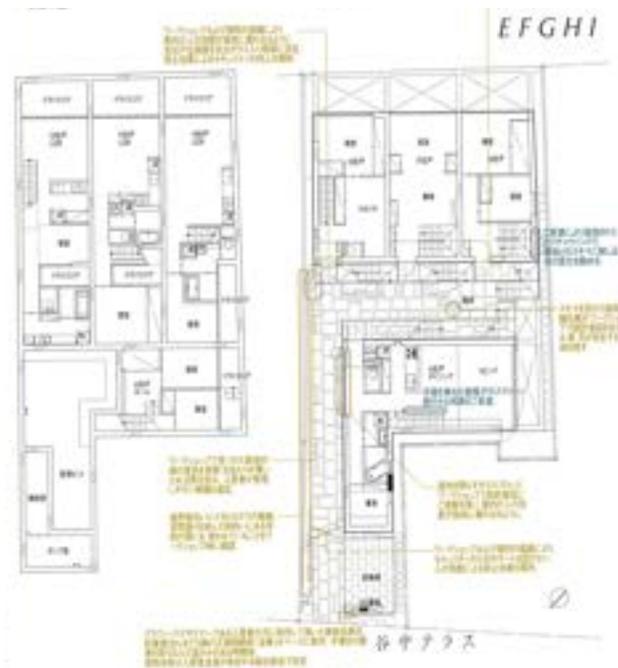
NO.83 西大泉の集合住宅 ATRIA

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.9	0.63



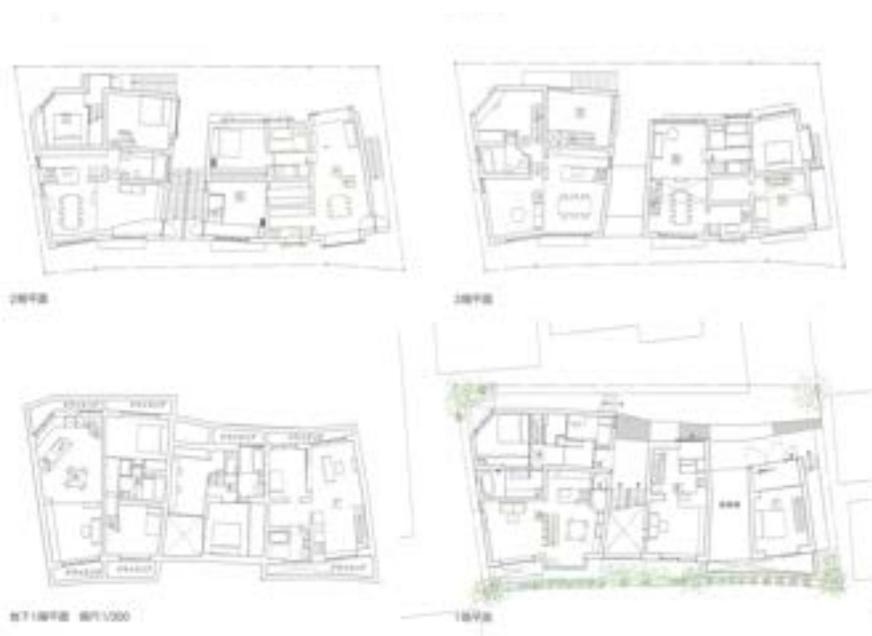
NO.84 谷中テラス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



NO.85 世田谷のコラボティブハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



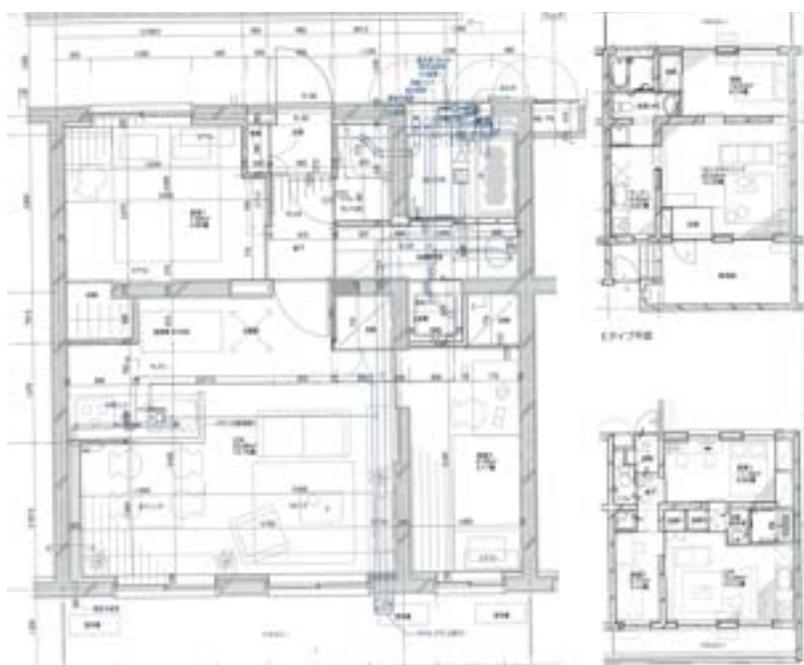
NO.86 大阪ガス実験集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54



NO.87 光第一ビル

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



NO.88 中里三丁目のテラスハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	0.5	0.18



NO.89 g apartment

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



NO.90 ガーデニエール

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



NO.91 soil A

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



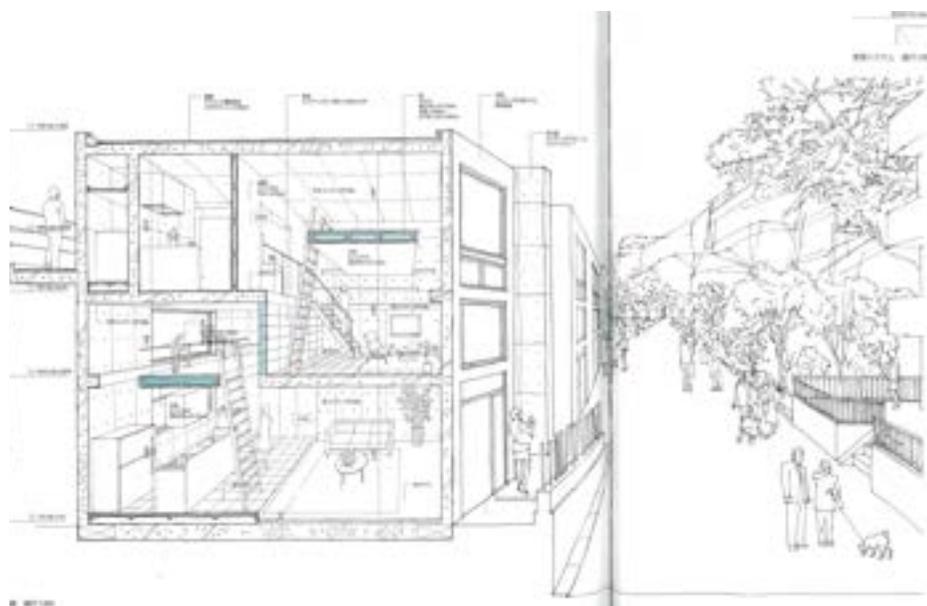
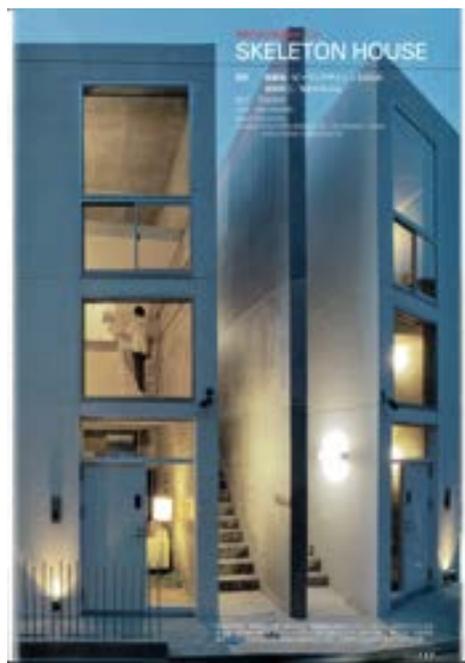
NO.92 soil D

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



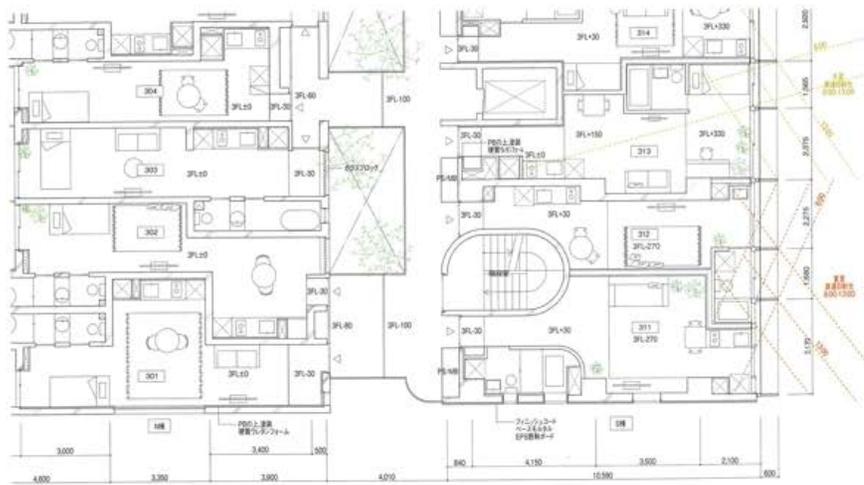
NO.93 skelton house

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	1	0.60



NO.94 gridie

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



NO.95 グリーンネットの集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.96 M アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.97 maglia jiyugaoka

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.7	0.63



NO.98 逗子のアパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



NO.99 凸ハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.100 ヌーヴェル赤羽台

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



2LDK 61m<sup>2</sup>  
5号棟12階住戸平面 縮尺1/200

NO.101 石神井アパートメント

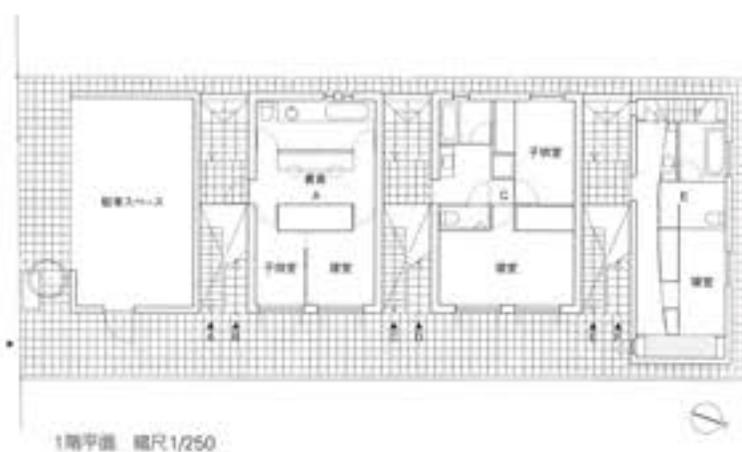
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



地下1階平面 総坪1256

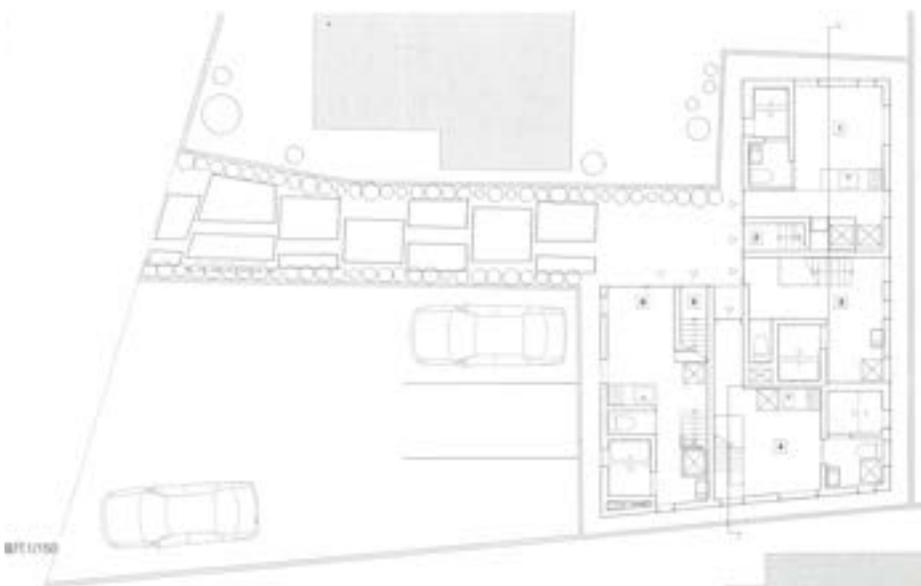
NO.102 石神井プリーツ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



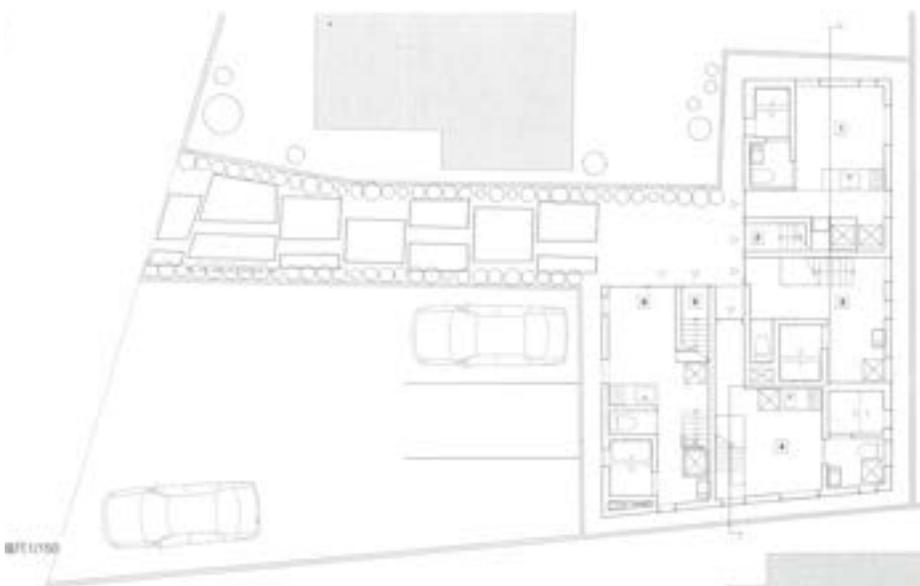
NO.103 シモキタハウス 1

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.104 シモキタハウス 2

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.105 桜並木の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.106 用賀十字路の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



---

NO.107 LUZ 白金

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.7	0.63



NO.108 kap

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.70



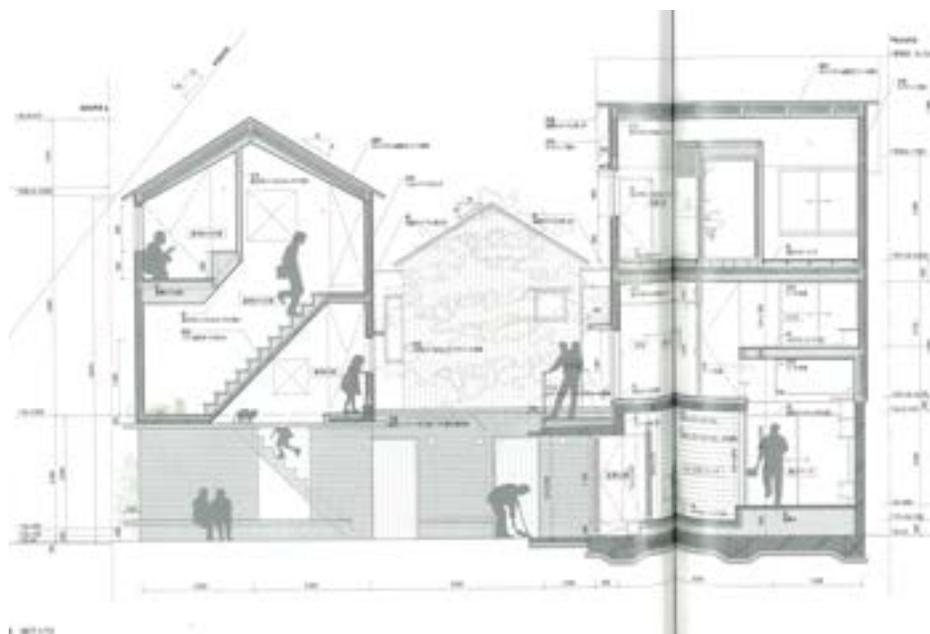
NO.109 萩塚の長屋

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.75



NO.110 ISANA

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54



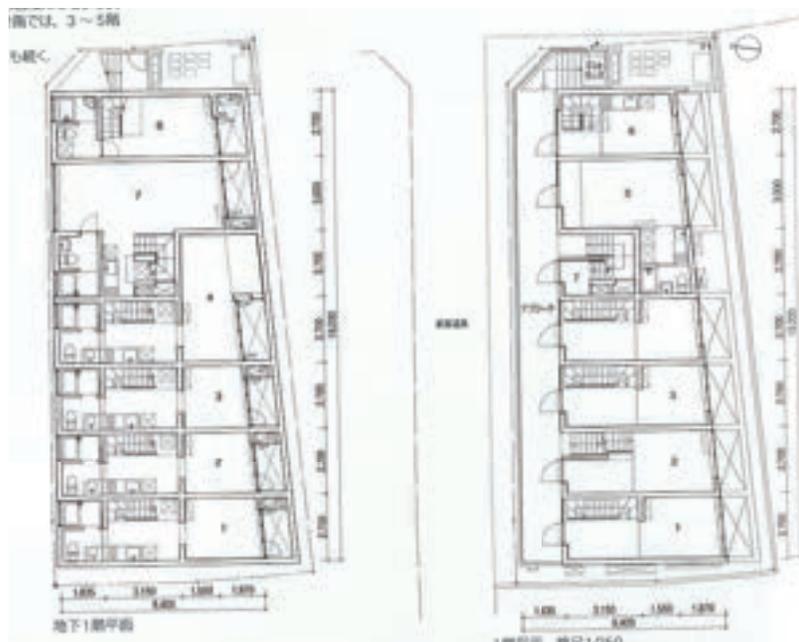
NO.111 ヤクモアパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.66	1	0.66



NO.112 南品川集合住宅 B

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



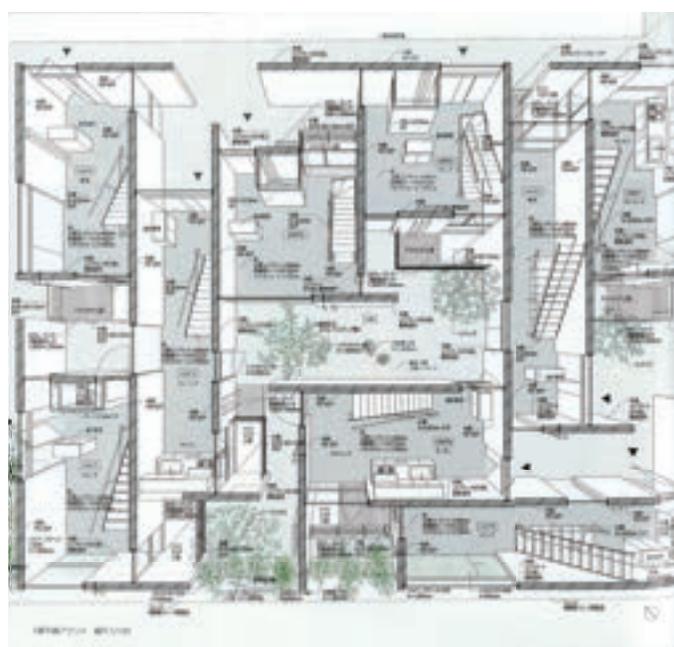
NO.113 ソウル江南地区ハウジング A3block

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



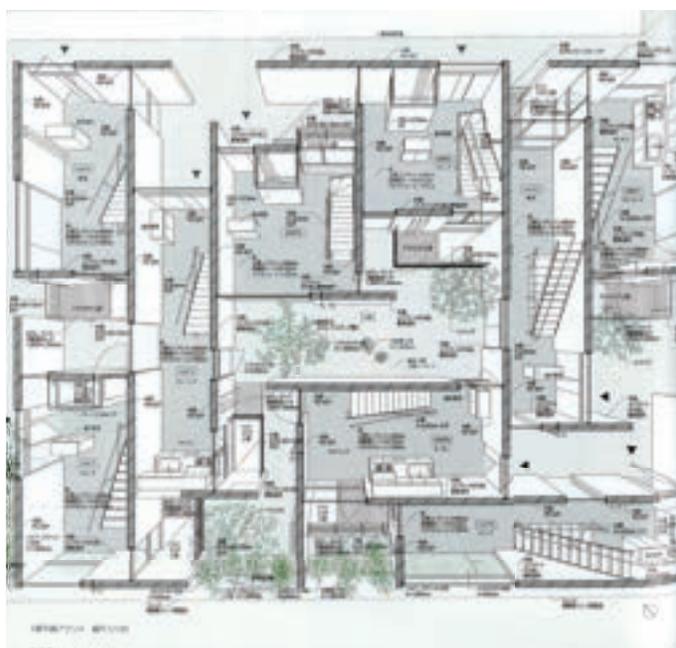
NO.114 ルネヴィレッジ成城

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



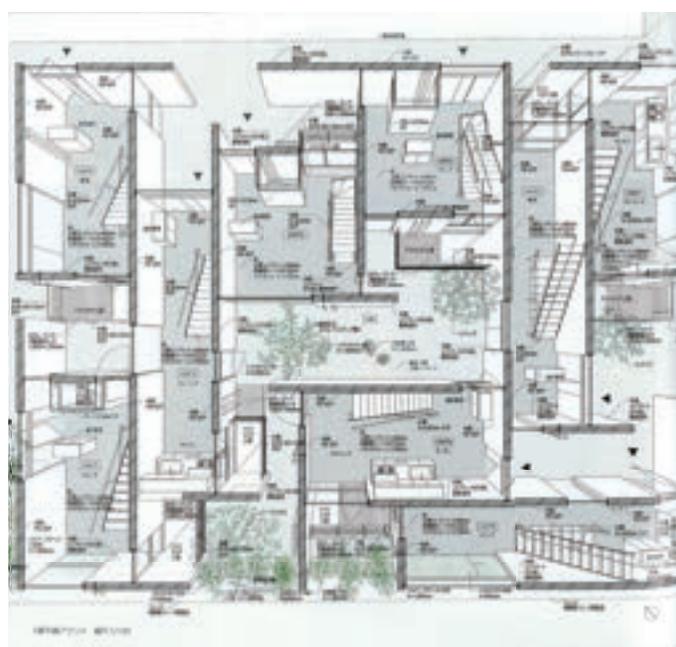
NO.115 ルネヴィレッジ成城

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



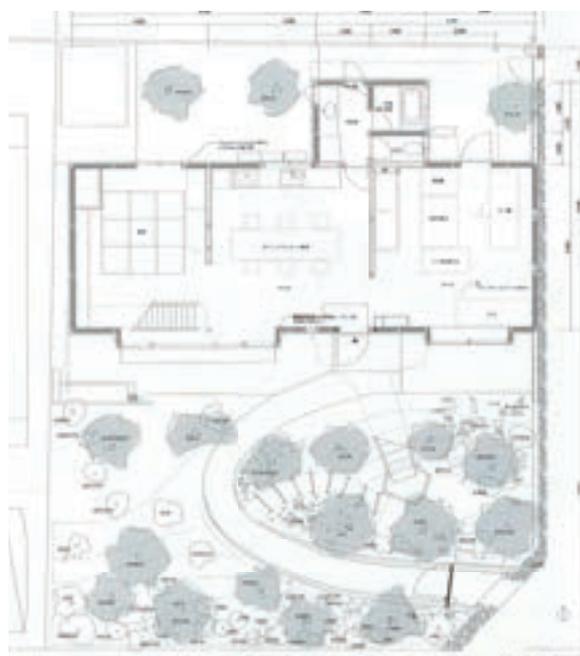
NO.116 ルネヴィレッジ成城

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



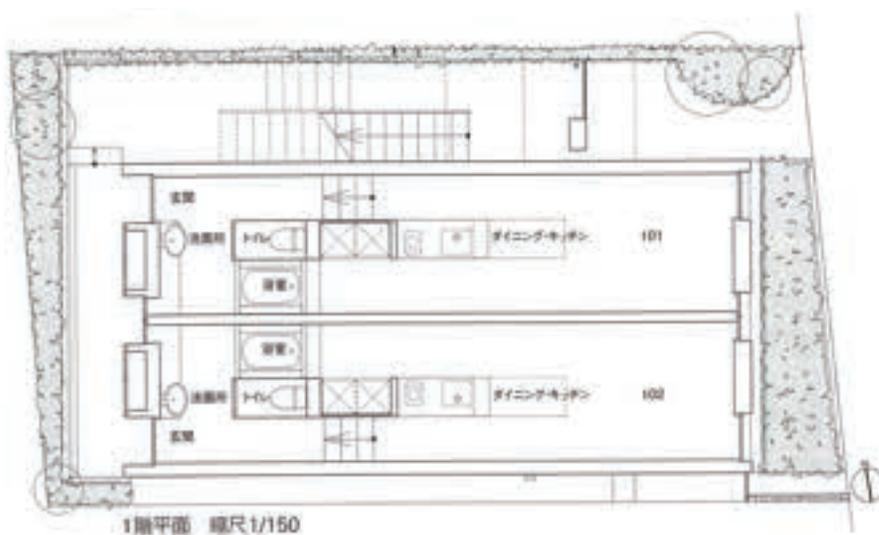
NO.117 松ヶ崎荘

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.5	0.25



NO.118 国領アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.119 石双居

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	1	0.6



- ※計画地の状況**  
 交通量の多い市街地から徒歩2分のゾーンをとりて各住戸に直結。外景との境界は、中庭生活が展開見える給子戸を設け、適宜に閉鎖と開く。→1階画
- ※配置**  
 近道道路に対して異断的に生活を配置。1階ウオーシュは、異断して居住。共有の給子戸の開口がすばい。適宜に閉鎖性をつくる。→1階画、1階画
- ※設計**  
 鉄骨コンクリート組構法による、小の住戸に対して、構造を厚く、異断の本居材を設計。→1階画



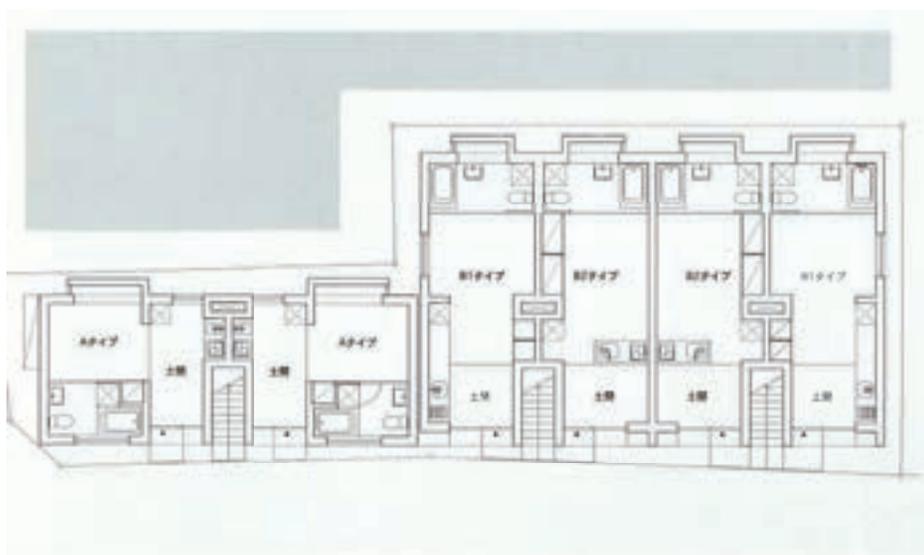
NO.120 松庵 森の家

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



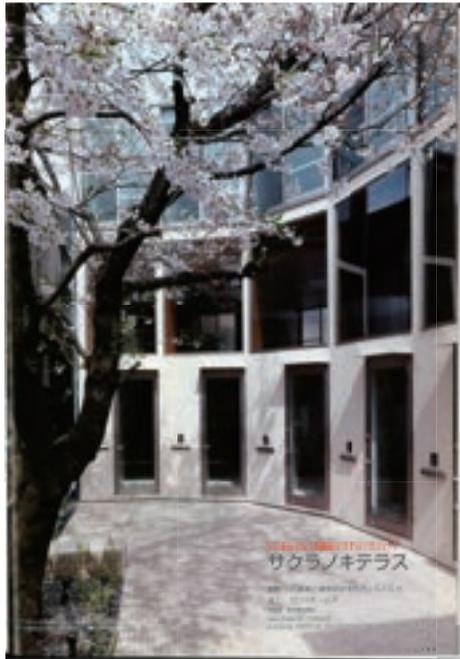
NO.121 comodo terrazzo

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	0.5	0.2



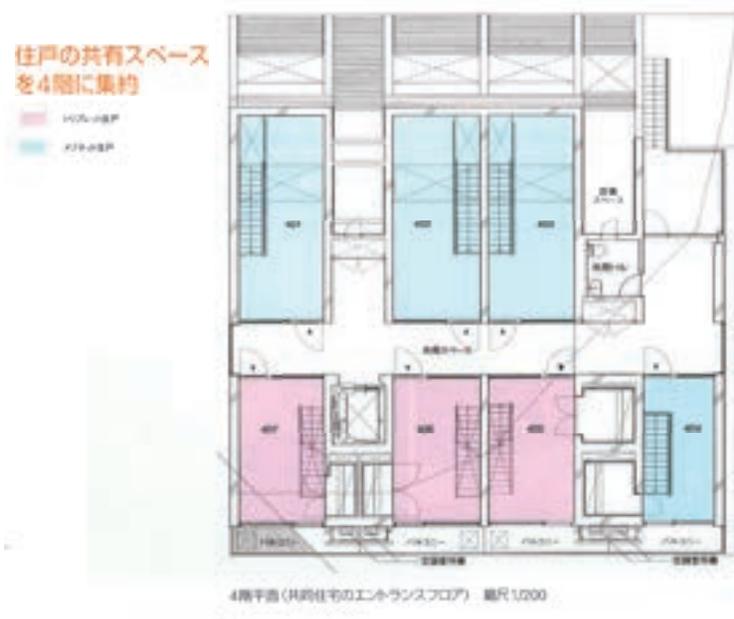
NO.122 サクラノキテラス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.123 nest

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.9



NO.124 キャトル柿の木坂

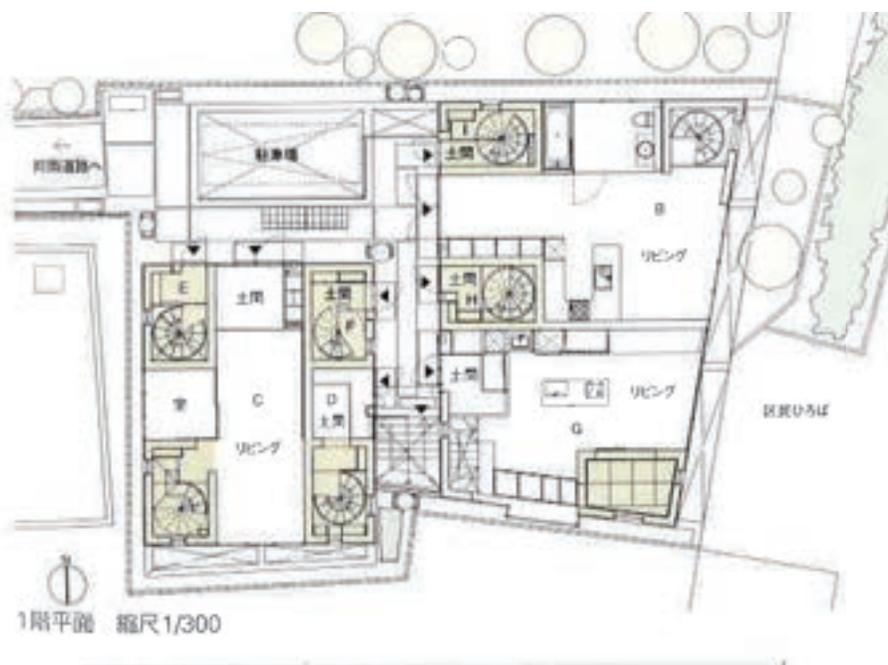
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.5	0.40



2階平面

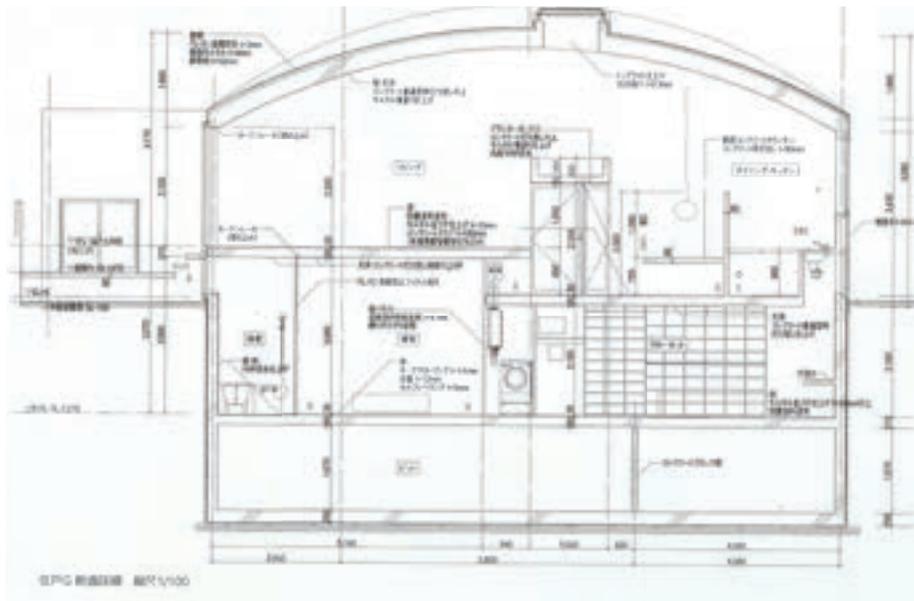
NO.125 keels

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.2	0.11



NO.126 sette

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.30



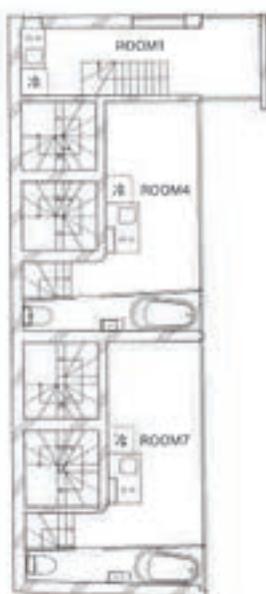
NO.127 neri bldg.2

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.128 KES

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



2階平面

---

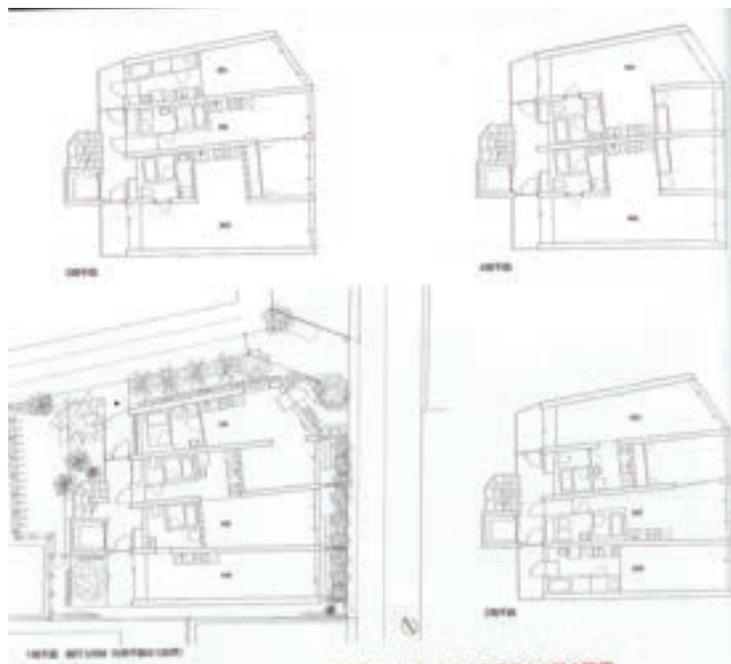
NO.129 stitch

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



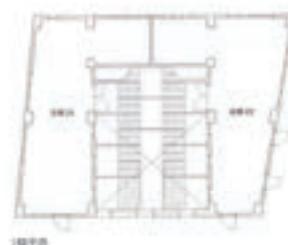
NO.130 ハスハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.57



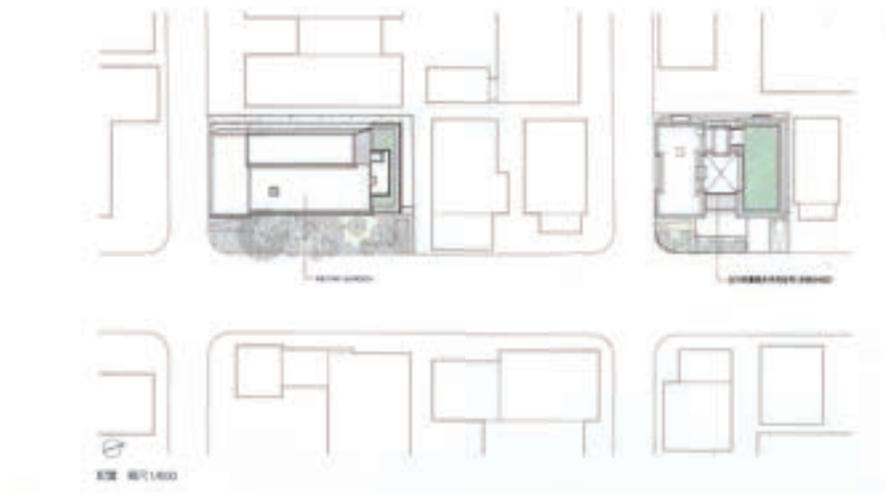
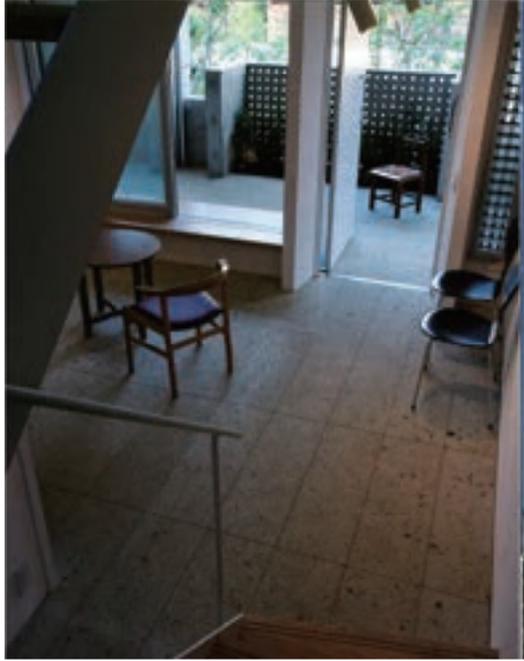
NO.131 [baoli]

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.3	0.22

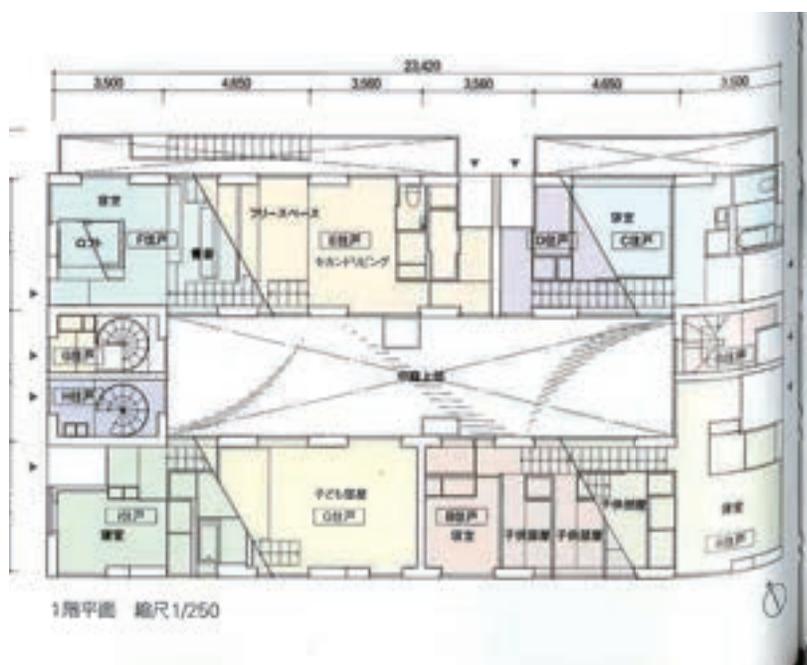


NO.132 KEYAKI GARDEN

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	1	0.60

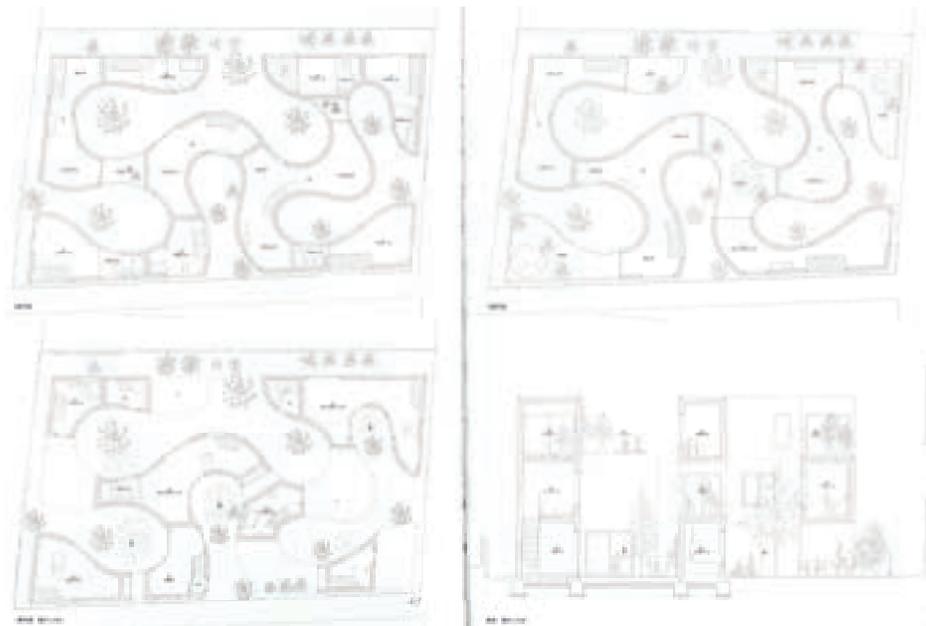


窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	0.5	0.30



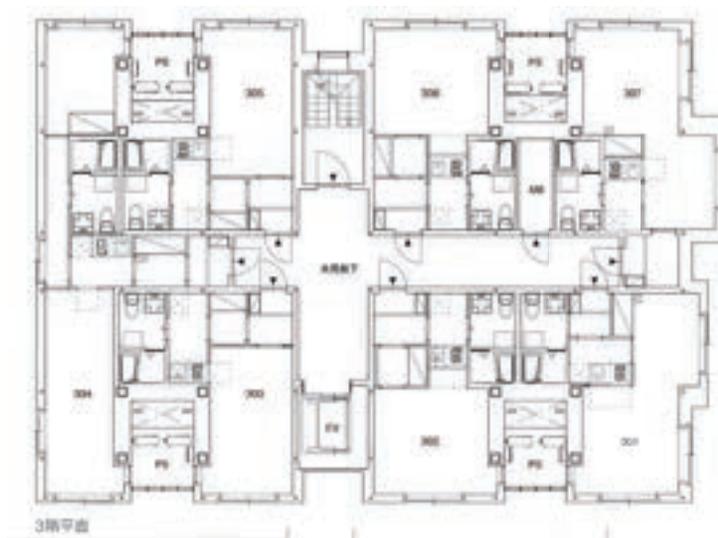
NO.134 大倉山の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



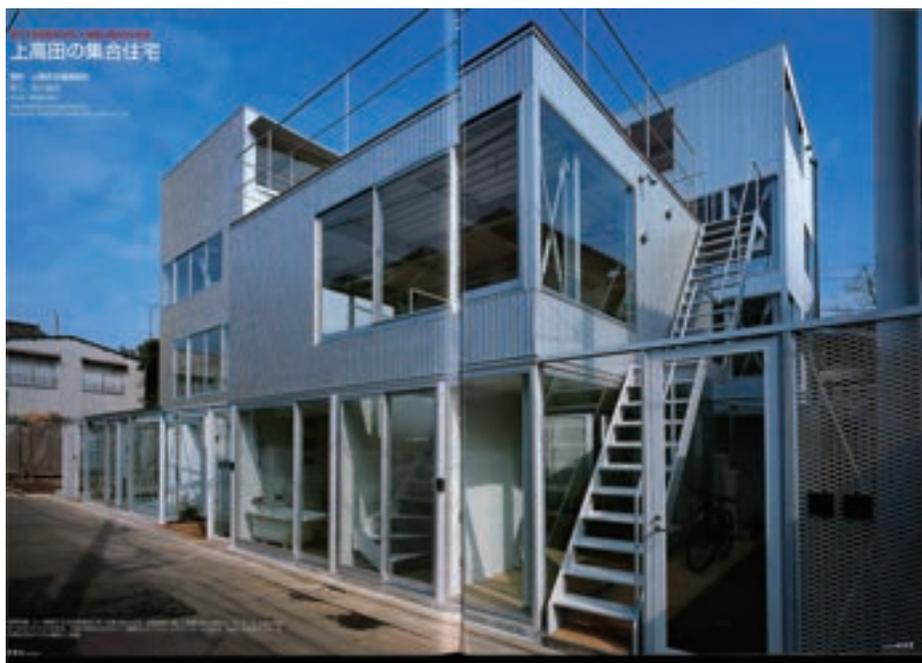
NO.135 BUILDING K

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



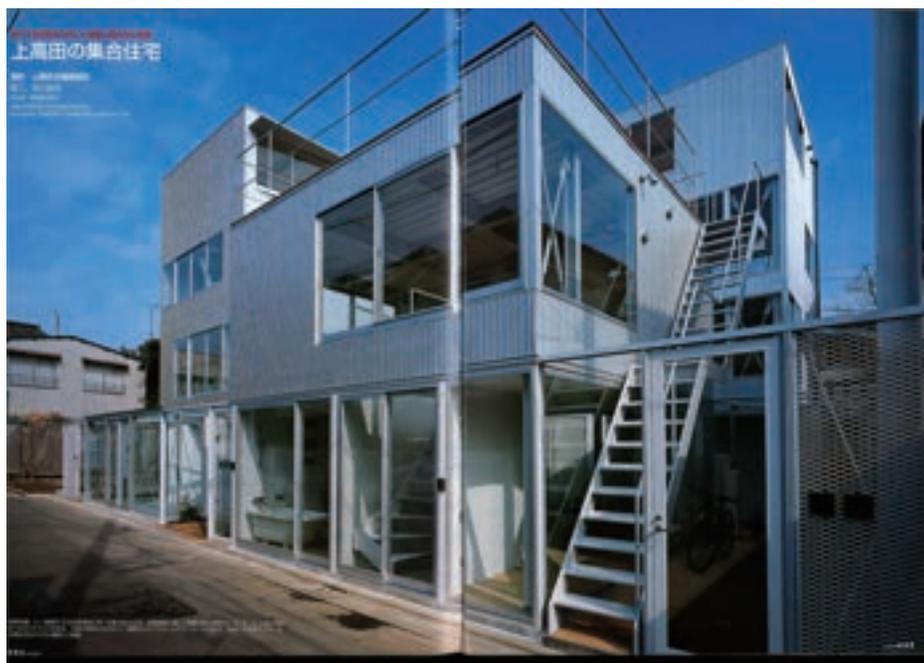
NO.136 上高田の集合住宅 F

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



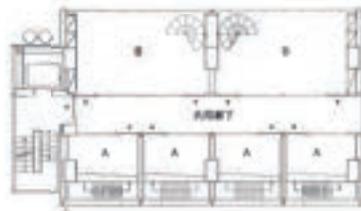
NO.137 上高田の集合住宅 E

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90

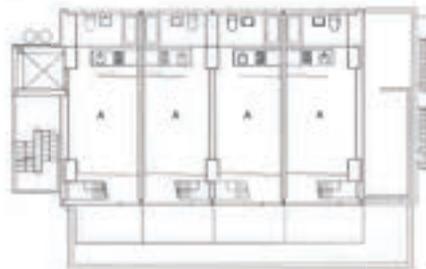


NO.138 klarheit

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



3階平面



2階平面

NO.139 consolare

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



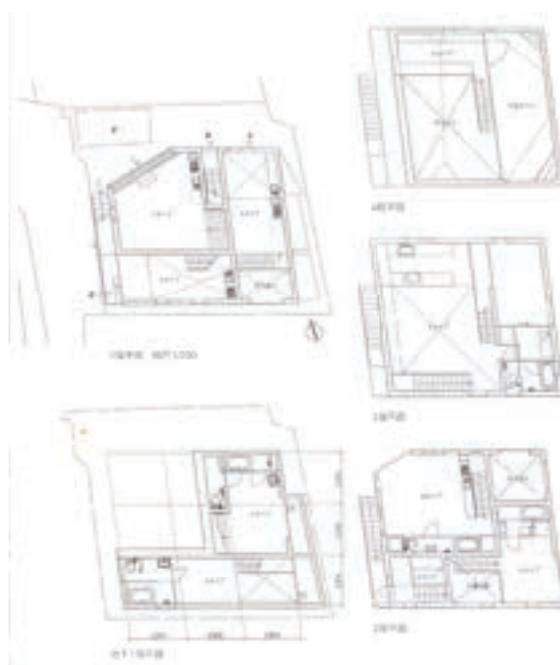
NO.140 ナチュラルキューブ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



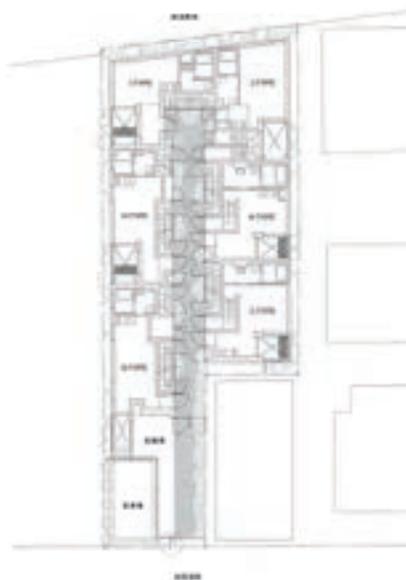
NO.141 sorte

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



NO.142 spread

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.143 成城タウンハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



NO.144 AOI apartment C

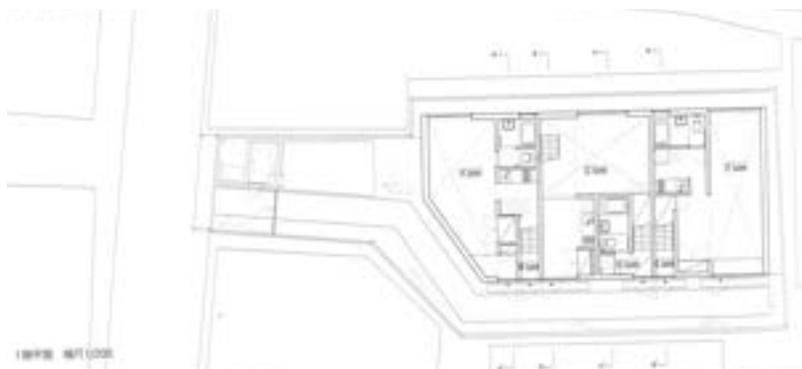
窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



---

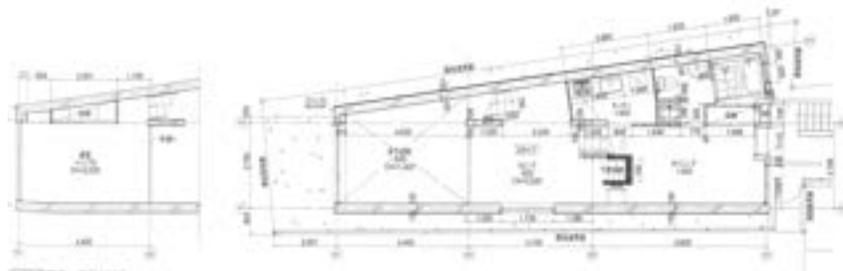
NO.145 AOI apartment F

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



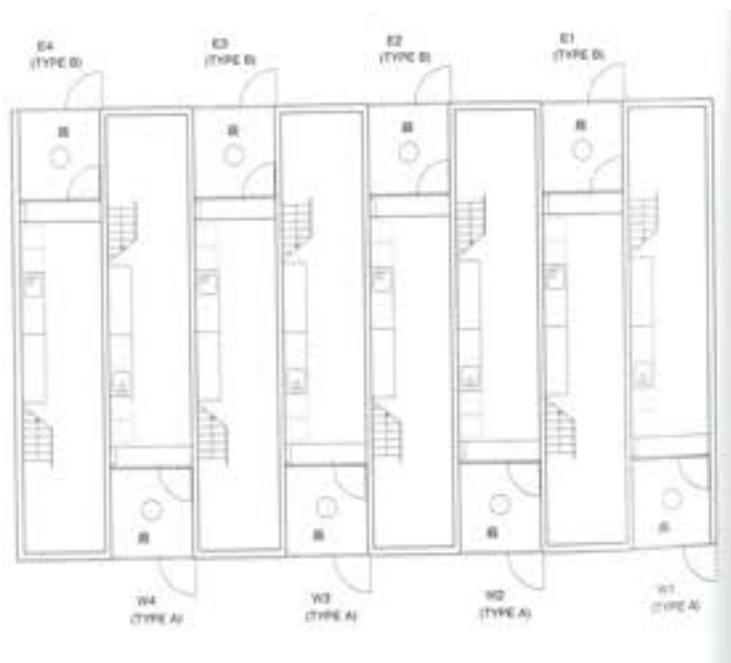
NO.146 保谷の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.6	0.50



NO.147 八ヶ崎集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.57



NO.148 プロムナード荻窪 5号棟

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.149 KEM

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.2	1	0.20



---

NO.150 slash/kitasenzoku

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



NO.151 blocco

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.81	0.73



NO.152 apartment なかなか

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27

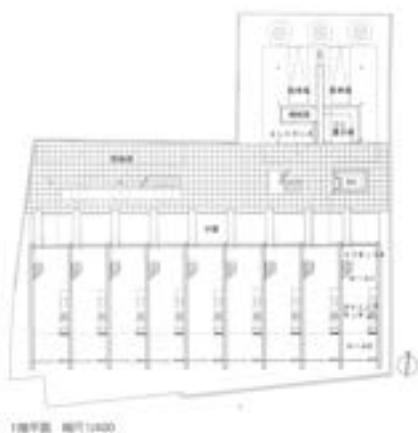


3階平面図(オーナー住戸)



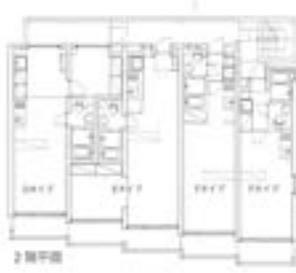
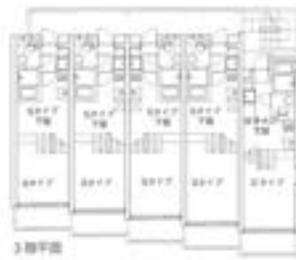
NO.153 集合住宅20K

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.9	0.72



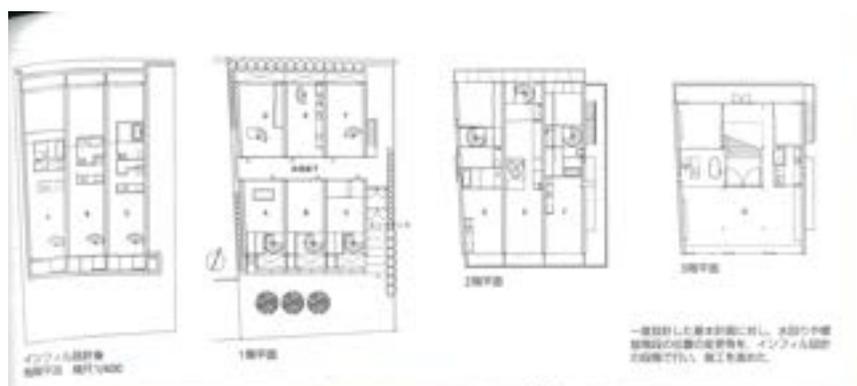
NO.154 桜上水の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.155 三宿の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	1	0.66



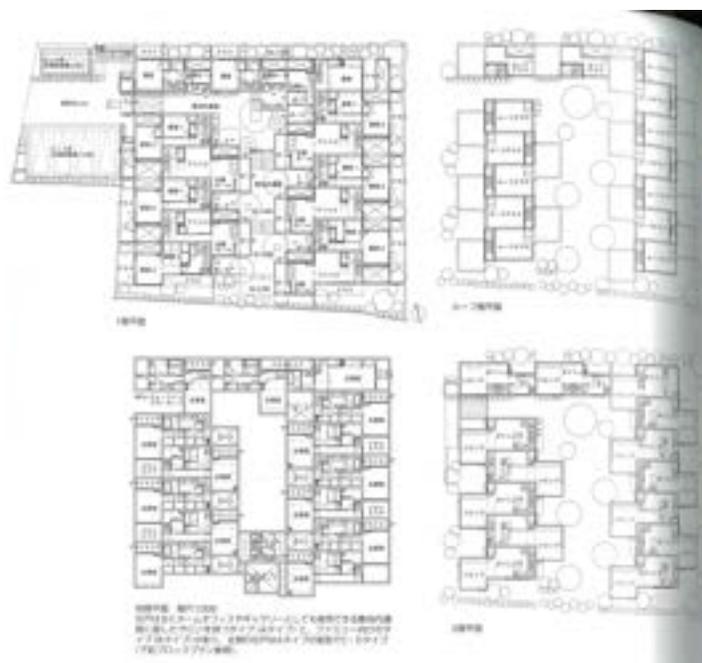
NO.156 n-GT1

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



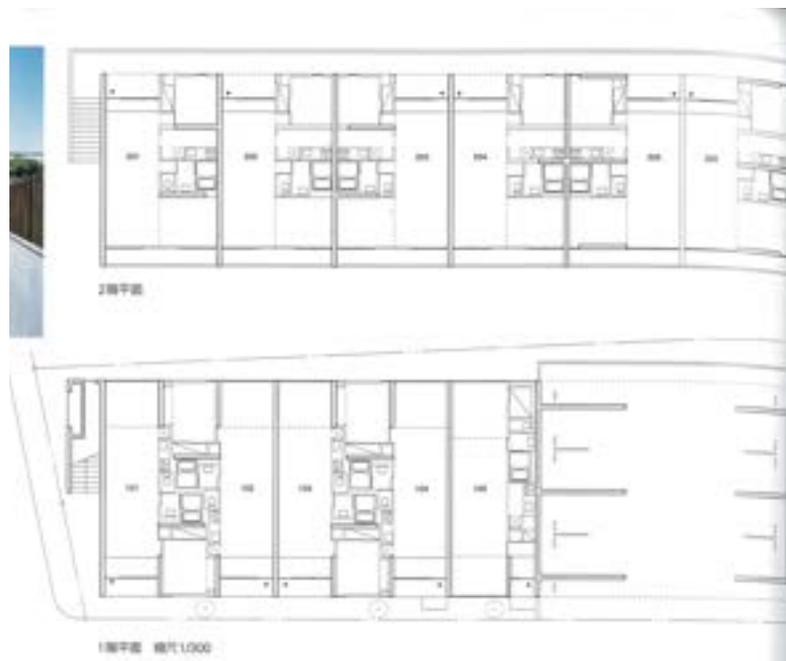
NO.157 コートデコ尾山台

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.158 厚木の集合住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.7	0.6	0.40



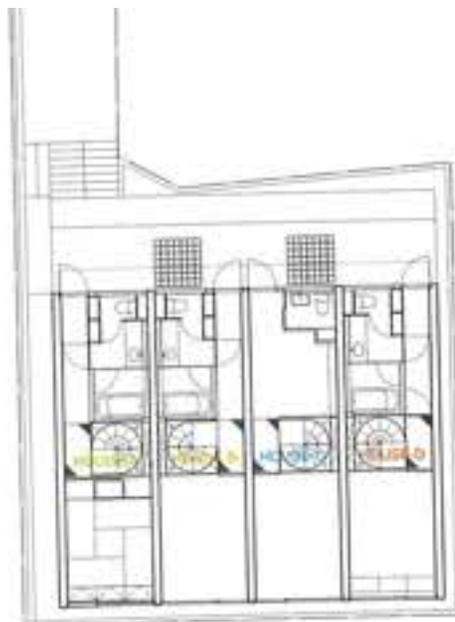
NO.159 四季の丘団地

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.160 下馬の4軒長屋

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



1階平面

NO.161 東雲キャナルコート 1 街区

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.162 東雲キャナルコート 1 街区

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



**スモールオフィス (50) タイプ**

居住しながら事業を営むことができる「職住一体」のユニットである。下層フロアはオフィス、上層は住宅というメリネット。オフィス部分には住宅部分の入口とは別に独立した入り口が設けられており、主要人工地盤レベルのウッドデッキテラスから直接アクセスできるようになっている。入り口部分はペーシングユニットのホールと併しく大きなガラス扉となっていて、ショーウィンドウのような利用も可能である。

1) 周辺環境・近隣の施設はデッキテラス側に「職住一体型」として設けられている。

1階: デッキに連なるガラス扉よりアクセス 幅約1.8m

2階: デッキより連なるガラス扉よりアクセス 幅約1.8m

NO.163 東雲キャナルコート 1 街区

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



4ルーム (4per room) タイプ



※図面に示し、各戸の4ルームはそれぞれにコモンラウンジをもつ。廊下1箇所



コモンラウンジと4ルームの境界を写す



4ルーム内部

「コモンラウンジ」という共用部分の外側空間に面した「4ルーム」をもつユニット。「4ルーム」はコモンラウンジに面してガラス張りになっていて、仕事やラウンジルーム、プライベートギャラリー、工房など多様な利用に対応できるように建築してきたスペースである。「4ルーム」の大きなガラス開口の室内側には家具が据けられており、この家具をすべて撤去すれば完全に透光が可能で、ロッキングは防犯対策としても役に立つようになっている。

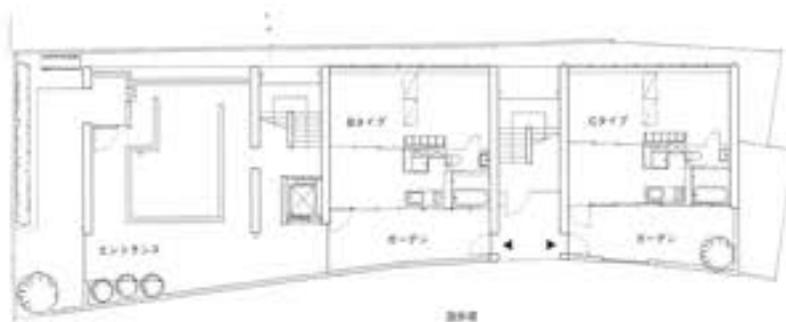
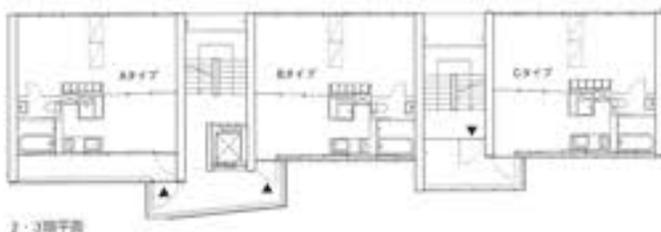
NO.164 東雲キャナルコート 2 街区

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



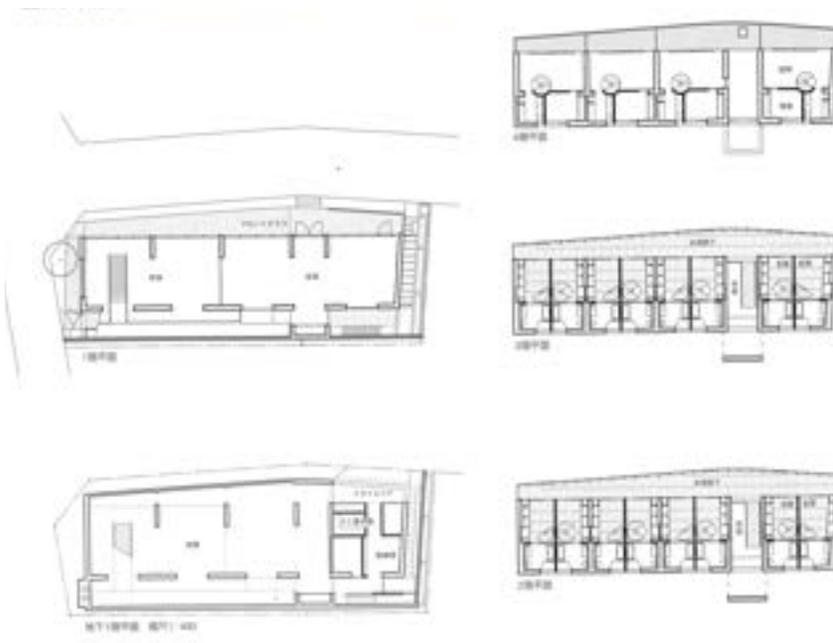
NO.165 二軒家アパートメント

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.166 IL TEMPO

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	1	0.50



NO.167 汐留インフィルプロジェクト

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.63	0.57



E-1タイプ平面 縮尺1/200

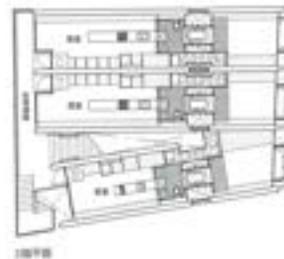
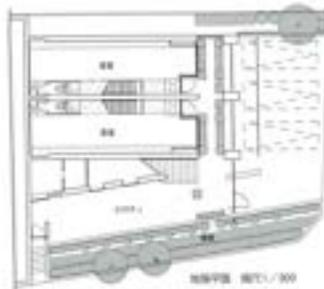
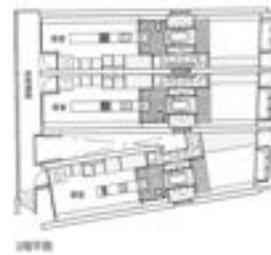
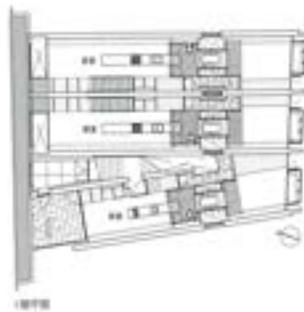
両面開放型・a/Fタイプ



F-1タイプ平面 縮尺1/200

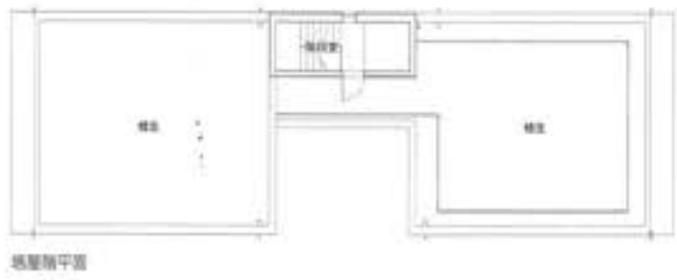
NO.168 リネア

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.6	0.54



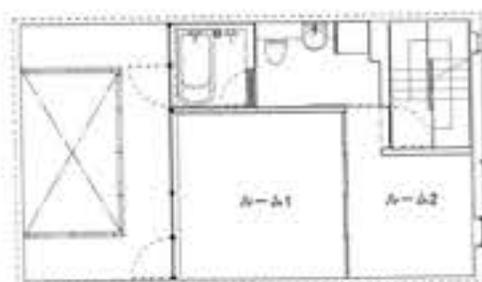
168

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



NO.170 下馬の連続住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	1	0.80



2階平面

NO.171 case study soho

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



4, 7階平面



5, 6階平面



8階平面



1階平面 柱尺1/500



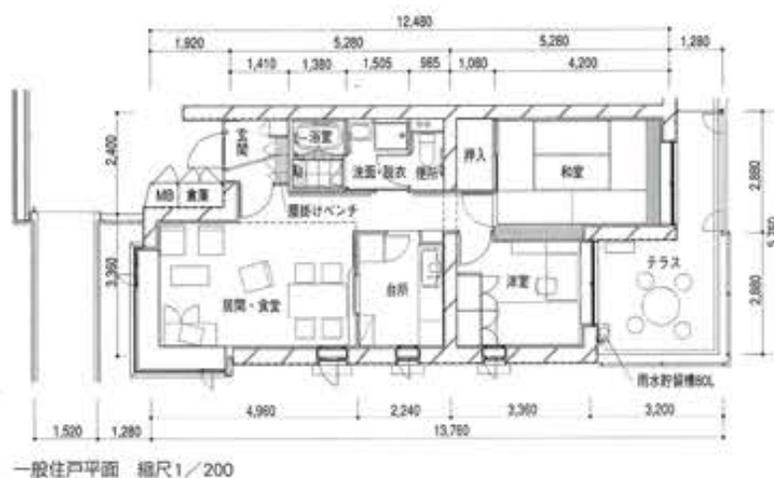
2階平面



3, 6階平面

NO.172 相模原市営上九沢団地

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.3	0.27



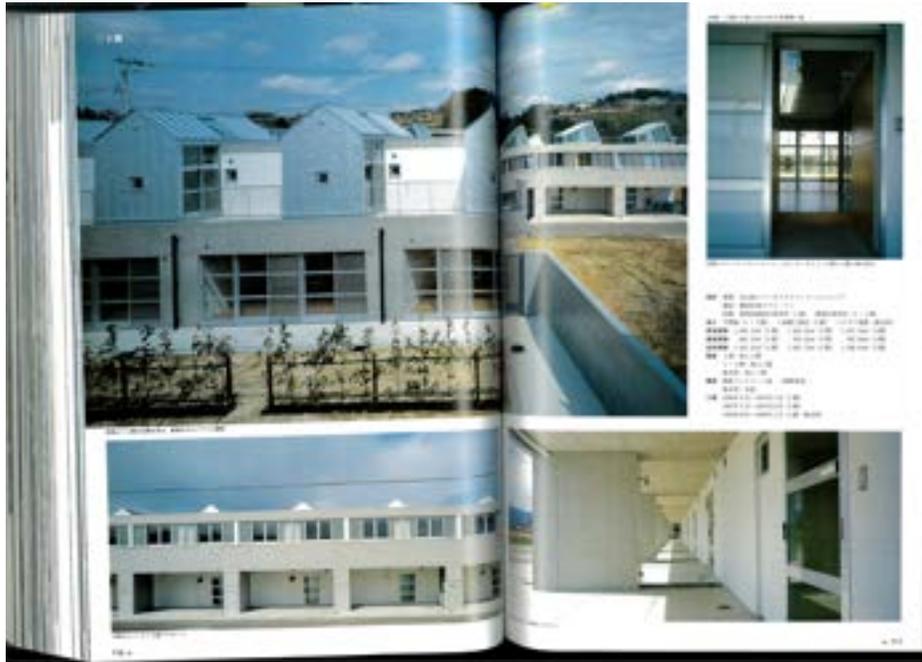
NO.173 balcon

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.9	0.81



NO.174 白石市宮鷹巣住宅

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.3	0.15

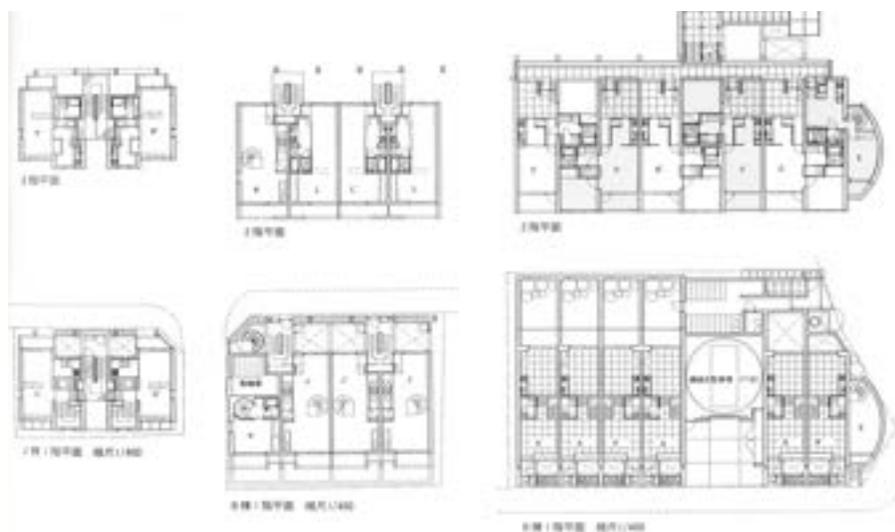
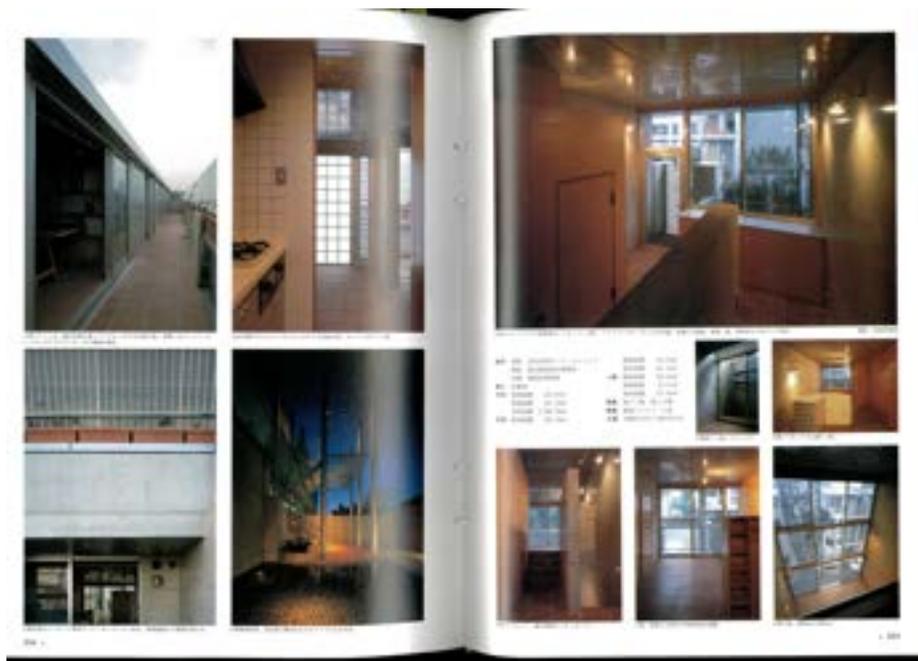


狭い地割アースアップ



NO.175 trinite

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.4	0.34



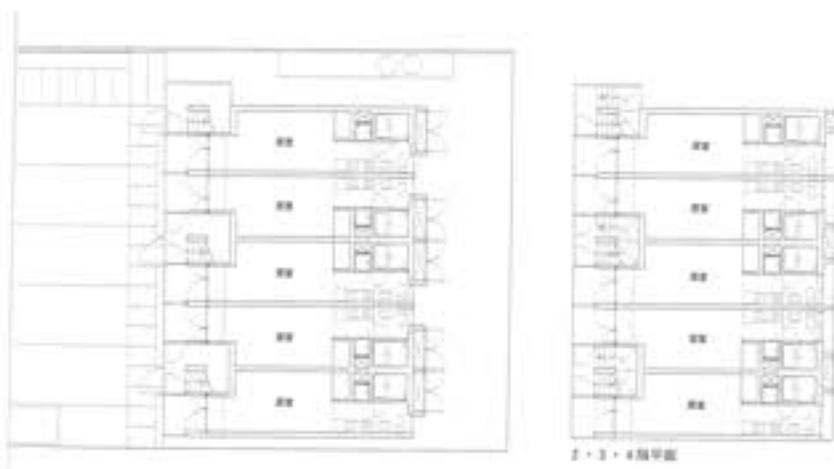
NO.176 茨城県菅沼川アパート

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.8	0.9	0.72



NO.177 rigato f

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.5	0.49

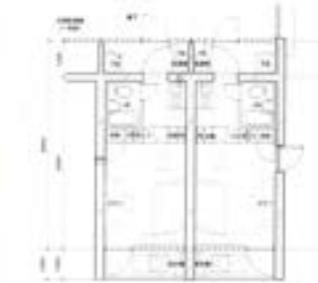


NO.178 ハウスエプタ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	0.2	0.12



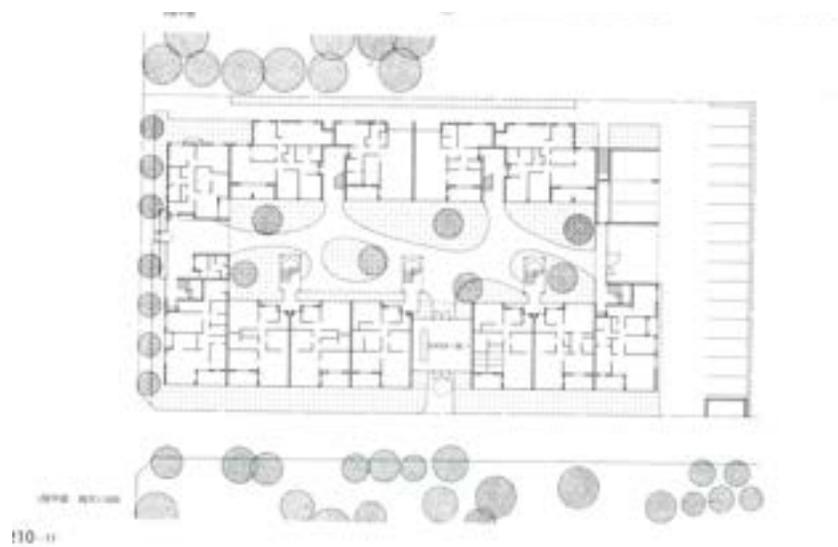
190 40



平面図 廊下(1/100)

NO.179 パークコート杉並宮前

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40



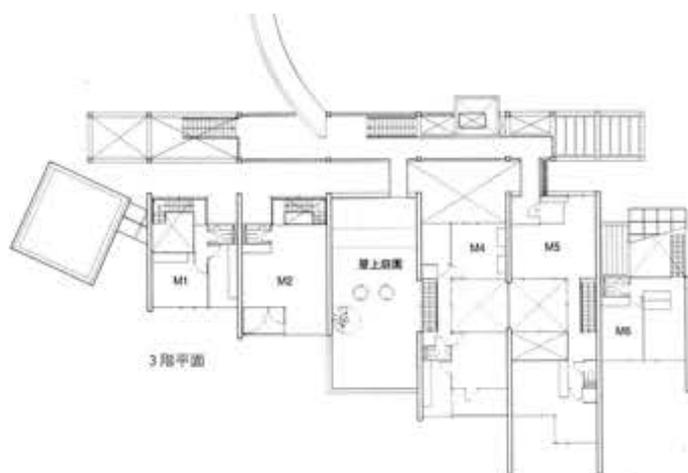
NO.180 幕張ベイタウンパティオス 10

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	0.2	0.18



NO.181 fh hoya-2

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.9	1	0.90



NO.182 第二の大地の建築

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.1	1	0.10



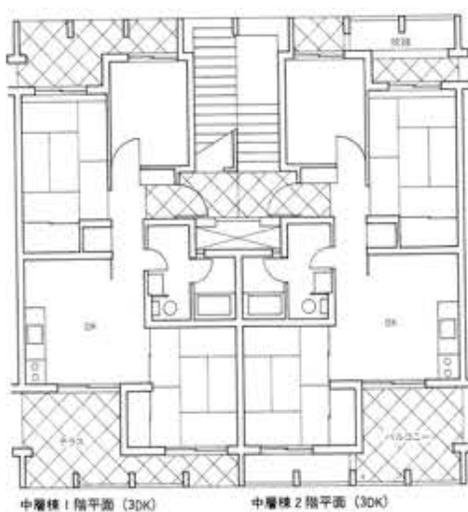
NO.183 kosugi project

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.2	1	0.20



NO.184 熊本市営新地団地 A

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	1	0.40





NO.186 the mu-an house

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.4	0.3	0.12



玄関扉

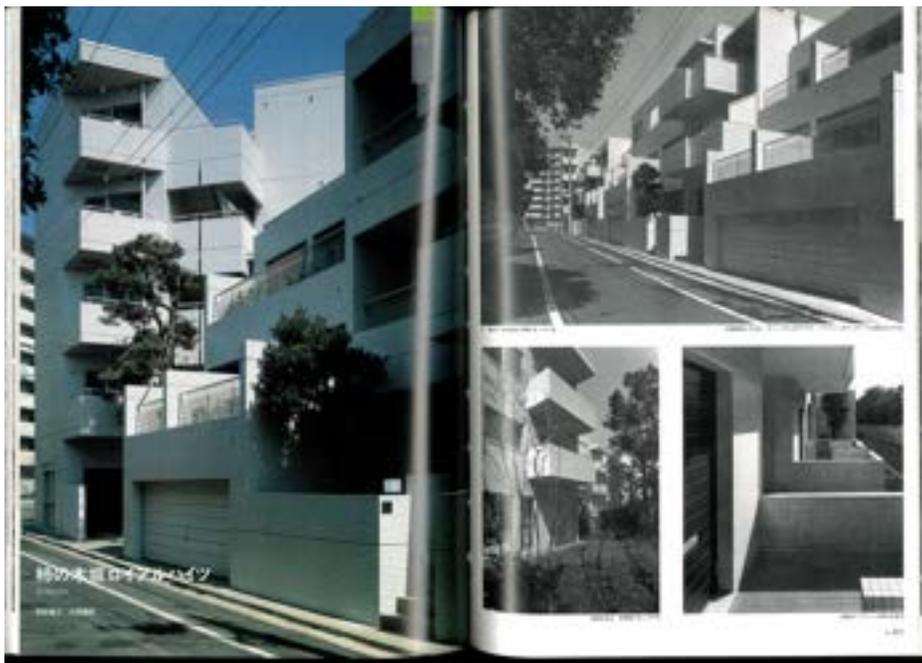
2007.10.05



2・4階平面 縮尺1/500

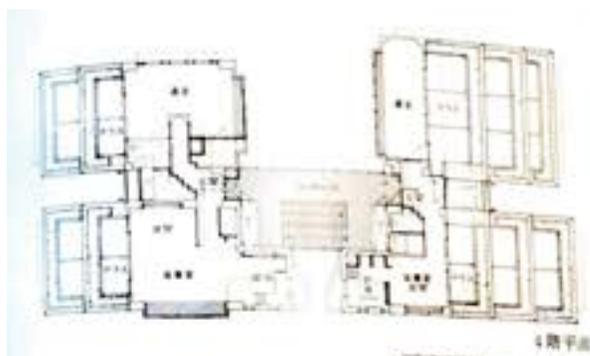
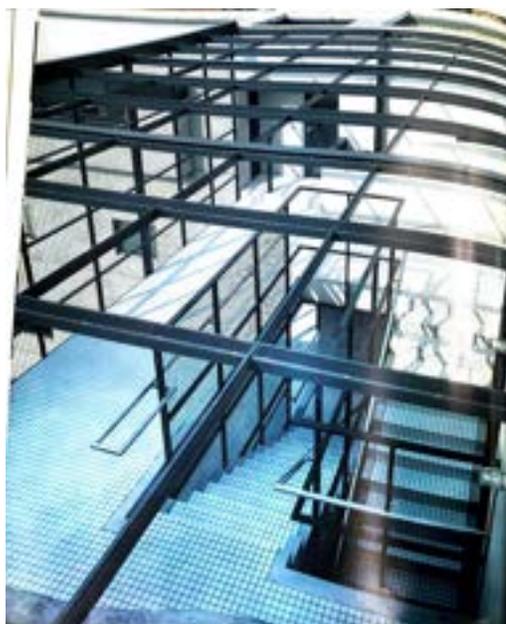
NO.187 柿の木坂ロイヤルハイツ

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.5	0.2	0.10



NO.188 FRICK COURT

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.6	1	0.6



NO.189 八雲テラスハウス

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.2	1	0.20



NO.190 枚方紳士服団地

窓の面積率	窓の透過率	壁の透過率
0.3	1	0.30

